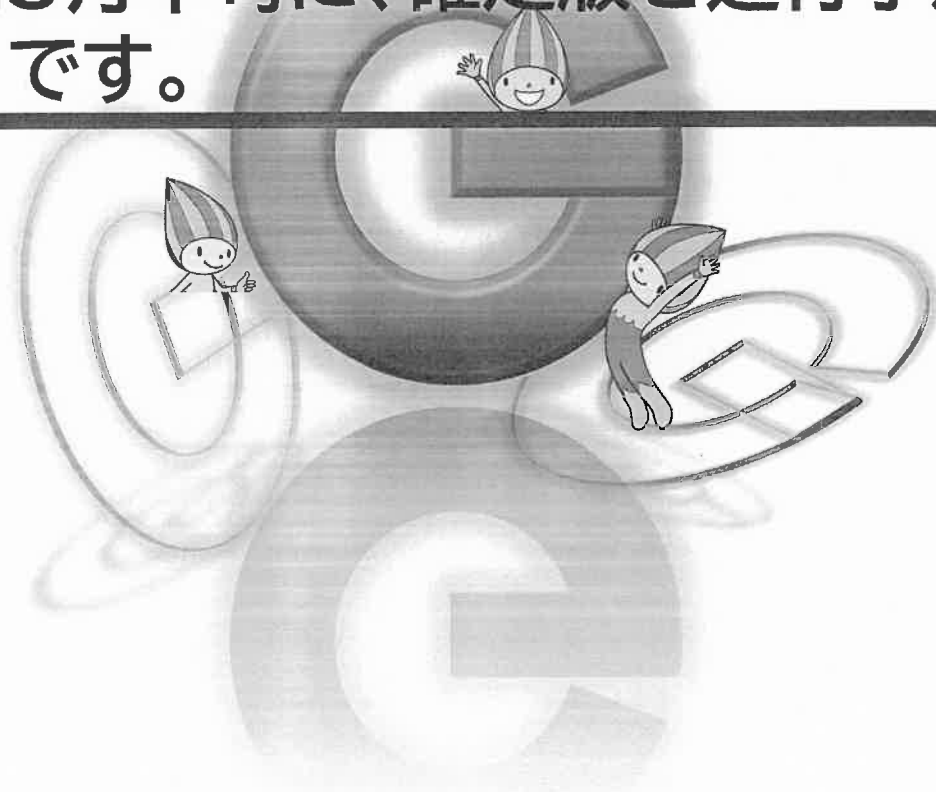


教職員研修計画 2024

12月暫定版

- 講座名・内容・講師・開催日等は、変更になる場合があります。
- 3月中旬に、確定版を送付予定です。



岐阜県総合教育センター
Gifu Prefectural General Education Center



1 研修コンセプト



岐阜県が求める教師像

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師 【**学び続ける向上心**】
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師【**高い倫理観・使命感**】
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師 【**確かな専門性**】



目指す姿

自ら学び続ける教職員

研修の基本方針

指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実
 - 岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標と研修履歴の活用 -

研修に関する重点

- ① 新たな研修プログラムによる自己課題の明確化と主体性の向上
- ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上
- ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上



2 教職員研修計画2024の主な構成

- 「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律(令和4年法律第40号)」を受けて、指標に加え、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」を踏まえた内容となっています。
- 教員一人一人がキャリアステージに応じ、自らの課題を明確にしながら主体的・自律的に研修を受講できるようにしています。
- 今日的な教育課題への対応力を高めるため、喫緊の課題に関する講座の充実を図っています。
- 日々の実践につながる指導力の向上を図るため、ねらいや内容に適した個別最適な学びと協働的な学びによる研修を実施するとともに、校内外における日常的な自らの学びを支援します。



3 令和6年度研修体系図

方針と重点	【目指す姿】	自ら学び続ける教職員			
	【研修の基本方針】	指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実 -岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標と研修履歴の活用-			
	【研修に関する重点】	① 新たな研修プログラムによる自己課題の明確化と主体性の向上 ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上 ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上			
岐阜県教員の キャリアステージ	基礎形成期	資質向上期		資質充実期	資質貢献期
	意欲的に実践し、 教職の基礎を固める。	組織の中核として、専 門性を高め、推進力を 発揮する。		活力ある学校運営を 企画・調整・実践し、 リーダーシップを発揮 する。	組織管理や他の教員 等への指導を行い、広 い視野で組織的な運 営を行う。
基本研修	【講座番号】 1001-1111 経験年数や職務に 応じて、必要な資質 能力の向上を図る。	経年研修			職務研修
	【講座番号】 1112-1129 学校全体で担当者 対象の研修を行い、 各学校の課題への 対応力の向上を図る。	新規採用研修 初任者研修 事務職員研修 新任学校司書研修	常勤講師研修 養護教諭研修 事務職員研修	基礎形成研修 (2~5年目)	6年目研修 中級教諭等 資質向上研修 (7~12年目)
選択研修	【講座番号】 2000番台 教科、領域等の指 導に必要な資質能力 の向上を図る。	重点講話 2001-2004 ①DX・情報社会 ②いのちの教育 ③人権教育 ④特別支援教育 ※ 経験年数・校種など幅広い教員を対象とし、今日的な教育課題に焦点を当てた研修。校内研修でも活用可！ スクールリーダー向け選択研修(スクールリーダーアラカルト研修) 2011-2019 ※ スクールリーダー(管理職、その他学校の中核となる教諭等)に必要な資質能力向上を目指した研修。リスクマネジメント、業務改善、学校経営、生徒指導、人材育成、教育課程、ICT活用、危機管理・わいせつ対応 等 学習指導 2101-2186 ※ 学習指導、評価、教科等の専門性や指導力向上に関する研修。幼児教育指導力向上講座、各教科ステップアップ講座、授業改善講座、道徳教育、総合的な学習・探究の時間 他 生徒指導 2203-2219 ※ 生徒指導、教育相談、キャリア教育等に関する研修。学級・HR経営講座、教育相談基礎・実技講座、児童生徒理解講座、外国人児童生徒への指導力向上講座 他 経営・分掌 2302-2320 ※ 組織マネジメント、人権教育、危機管理等に関する研修。メンタリング、プレゼン力向上講座、ファシリテーション講座、防災教育スペシャリスト養成研修 他 特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応 2401-2425 ※ 特別支援教育、幼児児童生徒への支援に関する研修。ユニバーサルデザインの授業づくり、発達障がいのある幼児児童生徒への支援、重複障がい学級の指導 他 ICTや情報・教育データの利活用 2501-2523 ※ DXによる教育の情報化の推進やICT活用に関する研修。VRやメタバースで実現する学び、ICT活用実践研修、放課後学べる！ミニICT講座、情報モラル 他 2601 育児休業からの復帰支援のための研修			
連携研修	【講座番号】 3000番台 学校や個々の教職員 の課題に応じて、資質 能力の向上を図る。	3001-3003 スクールリーダー養成研修(岐阜大学教職大学院との連携) 3101-3108 県博物館、県美術館、サイエンスワールド等の文化施設での体験研修 【派遣研修】国、県、民間、大学等派遣研修 【派遣研修】国外大学等プログラム			
その他	<input type="checkbox"/> 自ら学び続ける教職員研修支援事業 <リニューアル> <input type="checkbox"/> 各専科教職員を中心としたグループ研修や研修員研修を中心としたグループが行う研修を支援				



4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標

校長(管理職)の指標

項目	指標	求められる資質や能力等の具体例	関係法令等
経営ビジョン	○確かな教育理念と経営ビジョンをもち、保護者・地域に信頼される学校経営ができる。	<ul style="list-style-type: none"> □憲法及び教育基本法の理念に基づき、教育の目的の実現のために、組織の経営責任者として、使命感と責任感、子どもへの深い愛情をもって学校経営にあたることができる。 □国及び県(及び市町村)の教育振興基本計画や教育方針等を踏まえ、社会に求められる教育の変化を見据え、学校の教育目標の設定とその具現のための学校経営ビジョンを教職員や児童生徒に具体的に示すことができる。 □学校運営協議会制度や学校評議員制度を活用し、学校運営に保護者や地域の声を反映させるとともに、学校経営計画や自校評価、学校関係者評価等の公表により学校の説明責任を果たし、保護者や地域と信頼関係を築くことができる。 □常に自ら研究と修養に励み、管理職としての資質・能力を磨くとともに、社会の変化や国・県(及び市町村)の動向に注視しながら学校経営に必要な知識と見識を高め、組織の長としての自覚をもち、責任をもって学校経営に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○教育振興基本計画 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律
1 労務管理	○「子どものために」という教職員の熱意と労務管理を両立し、働きがいのある職場をつくり出すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> □労働安全衛生法(労働基準法)に基づき、産業医との連携のもと、常に教職員の勤務時間の管理と心身の健康に配慮しながら、過重な業務や心理的な負荷のないよう、適切な労務管理を行うことができる。 □「チーム学校」として効果的・効率的な業務遂行のための基本方針を明示し、業務の仕分け、行事の精選やスリム化、組織の見直しや再編等、教職員の働き方改革のための組織マネジメントができる。 □職場環境を悪化させるハラスメントについて、法令に従い、雇用管理上の措置義務を果たし、ハラスメントを許さない姿勢を明確に示すとともに、職員間のコミュニケーションを大切にして、風通しの良い職場環境をつくることできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○労働基準法 ○労働安全衛生法 ○労働施策総合推進法 ○男女雇用機会均等法
2 人材育成 <small>(組織マネジメント)</small>	○職員に対する温かさをもち、キャリアデザインを共有して適切に指導するなど、人材を育成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> □組織の長として人材育成の責務を自覚し、定期的な面談等を通して、教職員一人一人のキャリアステージに応じた課題を明確にしなが、公正かつ厳正な人事評価とキャリアアップに資する適切な指導・助言を行うことができる。 □職員集団の年齢構成も踏まえ、「仕事人が育てる」ことを意識しながら、個々の職員の能力や適性を十分に発揮させ、組織の対応力を向上させる校務分担の編制や主任等の任命、研修派遣や人事異動等、組織マネジメントの長としての責任を果たすことができる。 □主任や中堅教諭等の適切な人材をメンターとしたOJT(現場内訓練)や校内研修を実施し、人材育成のための精神的なサポートができる組織を構築することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地方公務員法 ○教育公務員特例法
3 教育課程・学力向上 <small>(カリキュラムマネジメント)</small>	○学力向上に関する具体策の成果を常に検証し、教育課程の改善と授業についての確かな指導ができる。	<ul style="list-style-type: none"> □学習指導要領の趣旨を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」)を明確にした上で、教科横断的な視点に立って、児童生徒の心身の発達段階や特性及び学校や地域の実態を考慮しながら、適切な教育課程を編成することができる。 □教育課程の実施においては、教職員が相互に連携しながら、学校の特色を生かしたより質の高い教育を実践できるよう指導・助言するとともに、PDCAサイクルを機能させ、組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図ることができる。 □Society 5.0の時代を見据え、ICTの積極的な活用により学習効果を高めるとともに、児童生徒1人1人端末の学習環境において、新しい技術や発想を取り入れた授業改善に取り組み、学びの個別最適化を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育法 ○学校教育法施行規則 ○学習指導要領 ○学校教育の情報化の推進に関する法律
4 生徒指導	○いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対し、関係機関と連携し、リーダーシップを発揮して組織的に解決を図ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> □生徒指導上の諸問題に対して、自らリーダーシップを発揮して、保護者及び関係諸機関と連携を図りながら、未然防止・早期発見・早期対応に努めて問題の解決を図るとともに、指導の過程を通して児童生徒の成長と教職員の指導力の向上を図ることができる。 □特にいじめの対応については、いじめ防止対策推進法、学校いじめ防止基本方針の趣旨を十分に踏まえ、法令等に則り、正確な事実の把握と情報の共有、保護者との連携、的確な判断と迅速で組織的な対応を自ら陣頭指揮し、解決後も継続的な見守りや支援を行うことができる。また、「特別の教科道徳」の導入の趣旨を踏まえ、考え議論する「道徳」への質的転換を図り、いじめの防止に積極的に関わろうとする児童生徒や教職員を育てることができる。 □教職員と児童生徒の間で日常的な信頼関係が構築できるよう、生徒指導の状況や児童生徒の実態について十分に把握するとともに、児童生徒に関する情報共有が管理職まで確実になされ、校内組織が十分に機能できるよう、校内体制を整備することができる。 □人権感覚を磨き、各種法令及び指針等に則り、少数者や特別な配慮を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育相談や支援を推進するための校内体制を整備することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ防止対策推進法 ○障害者差別解消法 ○義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
5 服務規律・危機管理 <small>(リスクマネジメント)</small>	○服務規律やコンプライアンスをはじめ、危機管理に対する高い見識と行動力がある。	<ul style="list-style-type: none"> □服務の管理監督責任者として、常に教育公務員としての使命感や倫理観に関する自覚を促し、法令遵守と不祥事(体罰や児童生徒との不適切な関係等、信用失墜行為)の未然防止に努めるとともに、事案発生時には、法令に従い、関係諸機関と連携を図り、児童生徒の安心安全を最優先に迅速に対応することができる。 □個人情報保護、公文書管理、公金管理等の最高責任者として、職員の危機管理意識を高め、関係法令を踏まえた適切な執行管理及び諸帳簿管理を徹底するとともに、問題発生時に法令に従い、速やかな報告及び事後対応等の適切な対処ができる。 □学校保健安全法の趣旨を踏まえ、児童生徒の命を守り切ることを第一に、校舎内外の学校施設の修繕や安全管理を徹底するとともに、学校の立地する地域の実情や児童生徒の実態を踏まえ、実効性のある防災計画・避難計画及び危機管理マニュアルを策定することができる。 □学校事故や感染症等の発生に対し、常に最悪の事態を想定しながら、保護者や関係諸機関(警察、消防、病院、教育委員会、司法、児童相談所、保健所等)とも連携し、応急処置や避難行動等、対応しうる最善策を判断し、迅速な指示を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校教育法 ○地方公務員法 ○教育公務員特例法 ○教育職員免許法 ○学校保健安全法
6 家庭・地域と連携	○家庭や地域と積極的に連携し、人的資源の活用等により、ふるさとへの誇りと愛着を培う魅力ある学校経営ができる。	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒の健全な育成を願う保護者や地域社会と、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有しながら、学校の教育活動について情報の共有と連携を図り、地域活性化の核としての学校の役割を果たすことができる。 □地域の産業・経済界、行政、その他関係諸機関と連携し、地域の魅力ある人材や教育資源を活用し、地域の課題解決に協働して取り組むなど、「社会に開かれた教育課程」の実現と「ふるさと教育」の推進に取り組み、魅力ある学校づくりを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育基本法 ○社会教育法 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】	
		意欲的に保育実践や集団づくりに取り組み、教職の基礎を固める。	園の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある園運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	園の管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。	
保育	保育構想	幼稚園教育要領のねらいや内容、内容の取扱い等を踏まえ、幼児一人一人への願いを明確にした指導計画を作成することができる。	小学校への円滑な接続を見通して、発達課題を踏まえて指導計画を作成することができる。	自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。	幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。	
	保育実践	各領域のねらい・内容を含めた総合的・一体的な保育とすることができ、	各領域のねらいとその特性を理解し、幼児一人一人が健やかに成長するよう指導・援助を行うことができる。	各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。	自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。	
	評価改善	指導計画に基づいて幼児一人一人の活動の様子を見届け、長期及び短期の指導に生かすことができる。	保育の評価を適切に行い、継続的な保育の改善を行うとともに、各領域の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。	
教育環境の創造	幼児理解	幼児と共に活動する楽しさや喜びを経験し、幼児理解の重要性について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、幼児一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	幼児の言動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に幼児の言動を見届け、価値付けの指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生活の展開	環境構成の意味、保育の展開等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	問題等を早期に発見し、関係職員に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に幼児の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。
	発達の課題	クラス・園・家庭・地域が一体となって、幼児を育てることを理解している。	幼児一人一人の発達の課題に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	その年齢の発達の課題に応じた生活が展開できるなど、自己有用感が育まれるような指導を行うことができる。	幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基盤となる実践することができる。	幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学級・学年・園経営	担当する分掌の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	担当する分掌に軸足を置きながら、園全体も意識して、課題を改善しながら分掌を果たすことができる。	自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。	自園の教育目標具現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。	
	連携・協働	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができることも、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。	
	危機管理	幼児の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面にに応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。	
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応	特別な配慮や支援を必要とする幼児について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの保育に生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの利活用	ICTを活用した保育や校務の推進及び幼児に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	保育や校務等にICTを活用でき、幼児の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための保育実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した保育実践等を行い、校務の効率化及び幼児の学びや生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	自園のICTや情報・教育データの活用を徹底的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊か
な人間関係を築き、地域社会の一員と
して考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
学習指導	授業構想		意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
	授業実践	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	児童理解	児童と共に活動する楽しさや喜びを経験し、児童理解の重要性について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、児童一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	児童の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて児童一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に児童の行動を見届け、価値付けの指導を行ったり、児童の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導	教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に児童の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、児童の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	児童に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育		発達段階に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	学年の発達段階に応じた役割をもたせる等、自己有用感をもたせる指導を行うことができる。	学校のキャリア発達課題を明確にし、その方策を提案し、学校の基点となって実践することができる。	学校のキャリア発達課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分享	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理		児童の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にしておこなうことができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に依りて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別配慮や支援を必要とする児童への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に関与することができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

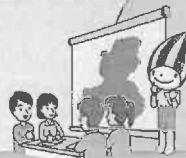
【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



- ・自分が得意な内容、領域を磨いている。
- ・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

- ・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
- ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

- ・若手や同僚に共感する。
- ・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、生徒の実態を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践	教科の指導内容を適切に理解し、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	教科の専門性を踏まえて、生徒一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善	評価計画に沿って生徒一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	生徒理解	進んで声をかけ、共に活動をする中で、生徒一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて生徒一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に生徒の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、生徒の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導	問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に生徒の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、生徒の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	生徒に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育	生徒一人一人が目標をもち、計画的に取り組むことができるよう指導を行うことができる。	生徒が見通しをもったり振り返ったりして学ぶよう指導を行うなど、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進することができる。	社会や職業との関連をより意識して生き方を考えられるように、地域との連携を図りながら指導することができる。	キャリア教育の視点を踏まえた生き方指導のモデルを実践したり、他の教員等が適切に指導できるよう、助言を行ったりすることができる。
経営・分掌	学年・学校経営	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら、対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理	生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面にに応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
学習指導	授業構想	教科の専門性を身に付け、高等学校に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、生徒の実態に応じた指導と評価の計画を作成することができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえた指導と評価の計画を作成することができる。	中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標や学習指導要領の改訂等を踏まえ、教科横断的な視点で指導と評価の計画を立案し、推進することができる。
	授業実践		生徒の実態と指導と評価の計画を踏まえ、身に付けさせたい力を明確にした授業を行うことができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業を行うことができる。	各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自ら学ぶ姿勢を育成する授業を行うための研修計画を立案し、推進することができる。
	評価改善		観点に基づいた評価規準を設けるとともに、自らの授業の方法や内容を客観的に評価し、改善することができる。	生徒の実態やニーズに応じた授業評価の方法や観点を工夫し、継続的な授業改善ができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善を行う体制を整え、推進することができる。
生徒指導	生徒理解	生徒理解の重要性について理解している。	生徒個々の資質能力や背景にある状況を、観察や資料等から客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	個々の生徒に対応する人的・物的に環境を整え、学校全体で生徒理解ができる組織づくりを推進することができる。
	生徒指導		生徒の声を共感的に聴くとともに、時と場合を捉えて適切な指導を行うことができる。	個や集団の実態や状況に応じて、生徒の自己指導能力の育成を促すための継続的な働きかけを行うことができる。	生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自己指導能力を高めるような教育相談・生徒指導を学校全体で行うための計画・組織を立案し、推進することができる。
	キャリア教育		生徒自身が望ましい職業観や自立について考え、自らの生き方を選択しようとする態度を育成する指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な可能性を基に考える指導を行うとともに、生徒の実態やニーズに応じた進路指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を実現するための系統的なキャリア計画を立案し、それを実施する組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	HR・学校等経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。	担当した校務を責任をもって行うことができる。	校務の課題についての建設的な改善策を他の教員等に提案し、組織的に働きかけながら実践することができる。	中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を具現するために、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	連携・協働		迅速な報告・連絡を心がけ、生徒の成長のために保護者や他の教員等と力を合わせて対応することができる。	周囲の人材と専門性を活用し合うなど、生徒の成長のための効果的な指導をチームとして行うことができる。	チームとしての指導と対応の視点や対策について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	家庭や地域、外部機関等との連携について、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切に適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に即して迅速に行動することができる。	事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、場面に即して迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
特別配慮や支援を必要とする生徒への対応	特別配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・高い倫理観と使命感の基、探究心をもって、謙虚に学ぶ。



・自ら課題をもって、自律的に学び、実践につなげる。

・自己研鑽に励み、周囲の学び意欲を高める。

・学び続ける姿を示し、学校の組織力の向上に寄与する。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		意欲的に授業実践や学級・HR経営に取り組み、教職の基礎を固める。	実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的運営を行う。
学習指導	授業構想	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点を踏まえて個別の指導計画等を作成し、他の教員等から指導・助言を受けながら授業を計画することができる。	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。	個別の指導計画等を作成する際に、関係機関の情報等の客観的観点を取り入れるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領の改定等を踏まえた個別の指導計画等の作成が成されるように研修を行う等、校内体制を整備し、推進することができる。
	授業実践	個別の指導計画等に基づいて、適切な教材・教具を活用する等、幼児児童生徒へ効果的な指導・援助を行うことができる。	個別の指導計画等に基づくと共に、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒へ効果的な指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の状態等に配慮して適切な指導・援助を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領改訂等を踏まえた適切な指導・援助ができるように、校内の研究体制を整備し、推進することができる。
	評価改善	幼児児童生徒への指導・援助について、健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点に基づいて授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒への指導・援助について、自身の授業実践とともに、チームとしての授業実践について適切な授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒の実態と社会や地域から求められるニーズに対応するという視点に立って授業評価や授業改善を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	授業の評価改善のために必要な観点、評価・指導の方法等について研究し、普段の授業改善を行う校内体制を整備し、推進することができる。
生徒指導	幼児・児童・生徒理解	観察、保護者との情報交換、他の教員からの情報、過去の資料等から幼児児童生徒の実態を的確に把握することができる。	幼児児童生徒の実態や状況について、自らの情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	幼児児童生徒の多面的な把握と分析に必要な情報収集を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校全体で幼児児童生徒の理解を深めるために、環境整備と組織づくりを推進することができる。
	生徒指導	幼児児童生徒の実態を踏まえて、一人一人のよさが発揮できるように指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の発露させたいよさと具現したい姿を具体的に想定し、その実現のための中・長期的なプランを想定した指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒一人一人のよさの発露と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり、保護者等と連携をはかったりするとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	幼児児童生徒への適切な指導・援助が行われるように、他の教員等や保護者・関係機関等との連携体制を整備し、推進することができる。
	キャリア教育	個別の教育支援計画等に基づき、社会自立を目指して、幼児児童生徒への指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別の教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の社会自立を目標とした指導・援助を行う際に、他の教員等に個別の教育支援計画等や、関係機関から収集した情報等の効果的な活用について、指導・助言を行うことができる。	適切な個別の教育支援計画等の作成と改善がなされるように、他の教員等や保護者、関係機関等と連携できる組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	学級・学年・部・学校経営	個別の教育支援計画等を立案し、それに基づき、学級（HR）全体を見渡した年間指導計画等を作成し、計画に沿った学級経営を行うことができる。	学校・部等全体を見渡した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級（HR）・学年経営を行うことができる。	学年・部・学校全体の学級（HR）経営が適切に行われるように、部・学校の特色を踏まえて他の教員等に指導・助言を行うことができる。	特色ある学校経営を推進するために、校内の体制を整備し、「安全に安心して過ごせる環境」「自立に向けて個性を生かす体制」を整備し推進することができる。
	連携・協働	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等や保護者等と協力し、迅速な報告連絡を心がけて業務を行うことができる。	幼児児童生徒へ、保護者等と協力・連携しつつ、チームとしての指導・援助にあたるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	自校の使命を達成するために、学校内外の関係機関等との連携体制を構築するとともに、校内の業務が円滑に遂行される体制を整える。
	危機管理	幼児児童生徒の安全や個人情報等の重要性を理解するとともに常に心がけ、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に即して迅速に行動することができる。	学校の危機管理について、周囲と連携し、迅速に対応するとともに、より適切に対応できるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、適切かつ迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び幼児児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、幼児児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び幼児児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえて活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・目の前の幼児児童生徒の適切な実態把握や指導・援助の方法を、謙虚に学ぶ。



・学級（HR）・学年の幼児児童生徒に対する、チームでの適切な実態把握や指導・援助の方法を自ら学び、チームに伝える。

・自分が得意とする分野の知識・技能を深めつつ、校内の教員等への有効的な伝え方を工夫する。

・自分が深めてきている知識・技能、学びの手段等を、学校内外の多くの人に対して伝え、役立つ。

教員が成長し続けるために大切な姿



～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
保健管理	応急処置	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	意欲的に保健管理や健康指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
	心身の健康管理		健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。	児童生徒等の心身の健康管理や感染症の予防対策について、指導的立場を果たすことができる。
	学校環境の管理		学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	児童生徒理解	児童生徒の体と心の状態を把握しようとする努力をしている。	児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高め、成長を意図した指導を行うことができる。	児童生徒理解について、指導的立場を果たすことができる。
	保健教育		指導計画に基づく保健教育等を行うことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行うことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくらうとする指導を行うことができる。	保健教育について、指導的立場を果たすことができる。
	健康相談活動		健康相談の基本プロセスを理解し、健康相談が実施できる。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	保健室管理	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	学校の教育目標の具現を意図した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。
	保健組織活動		保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参加できる。	保健組織活動の意義を理解し、保健組織活動を企画・運営することができる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を、企画・運営することができる。	保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
	危機管理		管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。
特別配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルをきめた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



・自分が得意な内容、領域を磨いている。
・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

・若手や同僚に共感する。
・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿





～ぎふの人間像～

高い志とグローバルな視野をもって
夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
給食管理	学校給食に関する計画		意欲的に給食管理や食に関する指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
	栄養管理	給食管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	献立や教科との関連を図った食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校の食に関する課題を明確にした食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校や地域の実態を把握し、校内外との連携を図った食に関する全体計画の立案・実践・評価ができる。	学校の教育目標の具現を視点に持ち、食に関する全体計画の立案・実践をマネジメントすることができる。
	衛生管理		食事摂取基準や学校給食摂取基準を理解し、食物アレルギー等、適切に栄養管理を行うことができる。	食品構成や、地場産物の活用などを考慮した年間献立計画をもとにして、適切な献立作成等を行うことができる。	学校給食摂取基準を、児童生徒や地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用するよう工夫・改善に努める。	実態把握に基づき、食に関する指導と給食管理の一体化を図った献立作成の工夫・改善に努める。
食に関する指導	児童生徒理解		児童生徒の食生活の状況を把握するとともに、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、児童生徒の理解を的確に行うことができる。	教職員の共通理解を図る方途を工夫し、児童生徒の食習慣の状況を的確に把握することができる。	児童生徒の食習慣の状況に応じて、食に関する自己管理能力を高めるための指導助言ができる。
	教育指導	児童生徒の体と心の状態を把握しようとして努力している。	食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	給食献立と各教科等との関連を図り、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	児童生徒の実態を考慮し、生きた教材として学校給食の活用を図った食に関する指導の立案ができる。	児童生徒が食に関する課題に主体的に向き合い、実践に結び付く食に関する指導を行うことができる。
	個別的な相談指導		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	疾病やスポーツ栄養に関する基礎的な知識を習得し、食に関する相談指導ができる。	保護者や校内組織と連携した個別的な相談指導体制を整備し、活用することができる。	コンプライアンス意識をもち、学級担任等と連携を密にした積極的な個別的な相談活動が実施できる。
経営・分掌	調理場との連携・調整		設備や食品の管理など、担当する校務の役割と、食に関する指導の両立をすることができる。	受配校や近隣の学校の実態を把握し、調理場を活用した食に関する指導や情報発信等ができる。	地域全体の食育を充実させる観点から、関係機関と連携した委員会の整備と活性化ができる。	給食管理と食に関する指導を一体化した組織的な運営等に参画し、工夫改善に取り組むことができる。
	給食組織活動	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	食育推進委員会で資料提供したり、児童生徒給食委員会を運営したりできる。	食育推進委員会や児童生徒給食委員会の、計画的・効果的な経営ができる。	給食管理と食に関する指導が一体化した活動となるよう、給食組織活動を改善することができる。	給食管理と食に関する指導を一体化した活動となるよう、給食組織活動を改善・強化することができる。
	危機管理		管理職、学級担任、保護者、学校関係機関・団体等への、報告・連絡・相談を確実に行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	危機管理や対応のノウハウ、ヒヤリハット事例をもとに、根本的な対応のあり方を広めることができる。
特別配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員との連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に関与することができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。	
ICTや情報・教育データの活用	ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを育成するための情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。	

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・自分の得意な内容、領域を見付けられる。



- ・自分が得意な内容、領域を磨いている。
- ・他の人がもっているものよさに気づき、取り入れてみる。

- ・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
- ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

- ・若手や同僚に共感する。
- ・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



令和6年度 研修講座一覧(暫定版)

※印は新規講座
 ※色の別はキャリアアップ、記録の「O」は、各講座の対象のキャリアアップを示していますが、「J」であっても、その講座に出席することは可能です。
 ※色の別は研修方法。紫白型研修、同時双方向型オンライン研修、オンデマンド型オンライン研修を示しています。

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	初小 認	初小 識	中 識	高 識	特 長	形 成	向 上	充 実	重 合	回 数	単 位	検 査
基本研修 経年研修																
1001	幼稚園等新規採用教員研修(幼・認)	教育公務員特別法の規定に基づき、幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	【教育研修課主催】 ① 5/20(月)～5/24(金) ② 6/17(日)～6/21(金) ③ 7/17(水)～7/19(金) ④ 11/1(金)～11/15(金)に グループを分けて2日間実 施 ⑤ 2/3(月)～2/7(金) 【各教育事務所主催】 ⑥ 6/24(日)～7/12(金) ⑦ 9/2(月)～10/31(木) ⑧ 11/25(月)～12/20(金)	◆	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	700 基本研修
1002	初任者研修(小・教)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特別法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1003	初任者研修(中・教)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特別法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1004	初任者研修(高)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特別法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1005	初任者研修(特)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特別法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	-	-	-	◆	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1006	新規採用養護教諭研修(小・中・教)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	◆	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1007	新規採用養護教諭研修(高・特)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	開催要項を参照	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1008	新規採用栄養教諭研修(小・中・養・特) (新規採用・任用替)	教職の基礎形成を図るため、専門職としての知識及び技能を習得するとともに、児童生徒の食生活に関する現状と課題を捉える。そして、栄養総論としての職務を適切に遂行できる実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	-	① 5/7(水) ② 8/11(火) ③ ④ ⑤ 10月～11月頃 ⑥ 2/18(火)	-	-	◆	◆	◆	◆	◆	-	▲	-	-	700 基本研修
1009	新規採用実習助手研修(高)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高めるとともに、実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導方法等について学ぶことで実践的指導力を高める。	-	① 4/28(金) ② 10月中下旬予定 ③ 12/13(金)頃	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	-	-	700 基本研修
1010	新規採用実習助手研修(特)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高めるとともに、特別支援学校での実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導・支援方法等について学ぶことで実践的指導力を高める。	-	① 4/28(金) ② 6/6(木) ③ 8月下旬	-	-	-	-	◆	-	-	-	▲	-	-	700 基本研修
1011	6年目研修(小・教)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 5/9(木)と5/10(金)～ 5/31(金)のうち18日十半日 PM ② 8/19(月)から8/23(金) のうち1日 ③ 開催要項を参照	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小児	中級	高級	特	形成	向上	充実	貢献	統合	同	双	オ	ア	接
1012	6年目研修(中・職)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 5/9(木)と5/10(金)～5/31(金)のうち1日+半日PM ② 8/19(月)から8/23(金)のうち1日 ③ 開催要項を参照	-	-	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1013	6年目研修(高)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 6/21(金) ② 8/19(月)～23日(金)のうち1日 ③ 11/12(火)、11/19(火)	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1014	6年目研修(特)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 6/21(金) ② 8月下旬	-	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1015	6年目研修(養護教諭)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 5/9(木)頃 ② 8/20(火)大学連携頃 ③ 11/8(金)頃	-	◆	◆	◆	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1016	6年目研修(栄養教諭)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 5/9(木)頃 ② 8/20(火)大学連携頃 ③ 10・11月頃	-	◆	◆	◆	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1017	中堅教諭等資質向上研修(幼・認) 【12年目対象】	活力ある園運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特別法第24条等の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を身に付けるとともに、園運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を高める。	-	① 6/3(月)～6/28(金) ② 8/28(月)～8/30(金) ③ 10月中旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1018	中堅教諭等資質向上研修(小・養) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特別法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を身に付けるとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	-	① 5/16(木) ② 各教育事務所ごと指定	-	◆	-	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1019	中堅教諭等資質向上研修(中・養) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特別法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を身に付けるとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	-	① 5/16(木) ② 各教育事務所ごと指定	-	-	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1020	中堅教諭等資質向上研修(高) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特別法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を身に付けるとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習指導の力、生徒指導の力、分掌を推進する力の向上を図る。	-	① 6/28(金) ② 11/29(金)	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1021	中堅教諭等資質向上研修(特) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特別法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を身に付けるとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習指導の力、生徒指導の力、分掌を推進する力の向上を図る。	-	① 6/28(金) ② 11月下旬	-	-	-	-	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1022	中堅教諭等資質向上研修(養護教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上のため、今日的課題を踏まえ、中堅の養護教諭として自覚を高めるとともに、専門的な知識の習得、指導力の向上を図る。	-	① 5/16(木) ② 7/26(金) ③ 11/29(金)	-	◆	◆	◆	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修
1023	中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、食の今日的な課題を踏まえ、中堅の栄養教諭としての自覚を高めるとともに、専門的な知識の習得、指導力の向上を図る。	-	① 5/16(木) ② 7/26(金) ③ 11/27(水)	-	◆	◆	◆	◆	-	-	-	-	▲	▲	-	-	-	700 基本研修

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小	中	高	特	形成	向上	充実	貢献	集合	異	交流	検
1024	新規常勤講師研修(小・中・高)	小学校・中学校・義務教育学校の新規常勤講師に対し、初任者校内研修に連した研修を実施し、教職員として必要な資質・能力を身に付け、実践できるようにする。	-	実施要項を参照	-	◆	◆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	700 基本研修
1025	はじめての常勤講師研修(高)	本講座の受講経験がない常勤講師を対象に、教職の基礎を固めるため、生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めることと、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 4/26(金) ② 6/6(木)	-	-	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1026	はじめての常勤講師研修(特)	本講座の受講経験がない常勤講師を対象に、教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めることと、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	61:①②必修 62:③希望者	①4/26(金) ②6/6(木) ③9月下旬	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1027	はじめての兼護助教諭研修(高・特)	本講座の受講経験がない兼護助教諭を対象に、教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や、保護者経営等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めることと、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 4/26(金) ② 9/26(木)	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1028	市町村立小中学校等専務職員1年目研修	1年目の市町村立小中学校等専務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の効率化・円滑化を図る。	-	① 4/17(水) ② 8/5(月) ③11/7(木)	-	◆	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1029	市町村立小中学校等専務職員3年目研修	3年目の市町村立小中学校等専務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と、勤務の効率化・円滑化を図る。	-	8/2(金)	-	◆	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1030	新任学校司書研修(高)	学校図書経営に関わる基本的な内容についての講義・実習を通して、学校司書としての使命感を高め、資質の向上を図る。	-	①4月中旬頃 ②10月頃	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1031	★ 臨時的任用実習助手研修(高)	本講座の受講経験がない実習助手を対象に、教職の基礎を固めるため、実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導方法等について学ぶことと、実践的指導力を高めることと、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	-	① 4/26(金) ② 6/6(木)	-	-	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
1032	★ 臨時的任用実習助手研修(特)	本講座の受講経験がない実習助手(臨時的任用)を対象に、教職の基礎を固めるため、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高めるとともに、特別支援教育についての基礎的な事項について理解する。	-	①4/26(金) ②6/6(木) ③9月下旬	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	-	700 基本研修
基本研修 職務研修																	
1101	★ 校長研修(小・中・高)	校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めることと、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育む。	61:新任 62:2年目以降 63:3年目以降	【G1日程】 ① 4/24(水)PM ② 5/17(金)PM ③ 6/12(水)終日 ④10/29(火)PM ⑤文部科学省主催新任校長研修(オンラインマインド配信)を予定(実施時期未定) 【G2日程】 4/24(水)PM (開催要項参照) 【G3日程】 4/24(水)PM (Web)	-	◆	◆	-	-	-	-	-	-	▲	▲	▲	700 基本研修
1102	新任校長研修(高・特)	新任校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めることと、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育む。	-	① 4月中旬 終日 ② 5月下旬 終日 ③ 6月中旬 終日 ④10月下旬 PM ⑤文部科学省主催新任校長研修(オンラインマインド配信)を予定(実施時期未定)(R5は6月上旬)	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	▲	700 基本研修
1103	新任副校長研修(高・特)	新任副校長として、本県における教育行政上の基本的事項や副校長の役割について理解を深めることと、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育む。	-	5月上旬 PM	-	-	-	◆	-	-	-	-	-	▲	▲	▲	700 基本研修

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・中	高	特	形成	向上	充実	貢献	統合	同	双	男子	検査
1104	☆ 教頭研修(小・中・教)	教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校長を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営を推進するために必要な資質・能力の向上を図る。	新任 G1: 2年目以降 G2: 3年目以降	【G1日程】 ① 4/17(水)PM ② 5/8(水)PM ③ 6/5(水)PM ④ 6/24(月)PM 【G2日程】 4/17(水)PM (開催要項参照) 【G3日程】 4/17(水)PM (Web)	—	◆	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1105	新任教頭研修(高・特)	新任教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校長を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営を推進するために必要な資質・能力の向上を図る。	—	① 4月中旬 終日 ② 5月中旬 終日 ③ 6月中旬 終日 ④ 10月中旬 終日 ⑤ 指定研修から1講座選択	—	—	◆	◆	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1106	新任部主事研修(特)	新任部主事として、本県における教育行政上の基本的事項や部主事の役割について理解を深めるとともに、部の管理運営上の諸問題について研修を深め、管理職としての資質や能力の向上を図る。	—	① 4/19(金) ② 5/24(金)	—	—	—	◆	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1107	新任主幹教諭研修(小・中・教)	新任主幹教諭として、主幹教諭の役割について理解を深めるとともに、生徒指導、へき地教育に関わる学校の課題に対して、校種や地域をまたいで組織的、機動的に問題解決するなど、必要な資質・能力の向上を図る。	—	① 4/25(水)頃 PM ② 6/17(月)頃 PM ③ 7月下旬 ※スクーラーリーダー養成研修Aと同日	—	◆	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1108	新任指導教諭研修(小・中・教)	新任指導教諭として、指導教諭の役割について理解を深めるとともに、特別支援教育、多文化共生に関わる基本的な事項についての幅広い知見を身に付け、指導教諭としての使命感を高めたり、地域の学校や校内に実践を広めたりするなど、必要な資質・能力の向上を図る。	—	① 4/23(火)頃 終日 ② 多文化共生、特別支援教育の指定研修から1講座選択	—	◆	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1109	新任3主任研修(高・特)	新任3主任として、教務主任・生徒指導主事・進路指導主事の役割について理解を深めるとともに、教務主任・生徒指導主事・進路指導主事の業務に関する基本的な事項についての研修を通して、スクーラーリーダーに求められる資質や能力の向上を図る。	G1: 教務主任 G2: 生徒指導主事 G3: 進路指導主事	① 4月下旬 G1~3共通 ② スクーラーリーダー養成講座(3001~3003) から1つ選択	—	—	—	◆	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1110	研修主事研修(小・中・教)	G1: 新任研修主事として、研修主事の役割について理解を深めるとともに、教職員の資質や能力の育成を図る。 G2: 教職員の資質向上や学校課題への対応に向けた校内研修、日常的な校内での学びを活性化するための資質や能力の育成を図る。(事務所参集)	G1: 新任士希望者 G2: 全研修主事十市町村教委担当	G1: 5月頃 G2: 10月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1111	研修主事研修(高・特)	研修主事として、研修主事の役割について理解を深めるとともに、教職員の資質向上や学校課題への対応に向けた校内研修や日常的な校内での学びを活性化するための資質や能力の育成を図る。	—	① 4月 ② 10月	—	—	—	◆	—	—	—	—	▲	—	—	—	700 基本研修
1112	県立学校はじめてのICT活用担当者研修(高・特)	県立学校のICT環境整備を踏まえ、各学校の教育活動における効果的なICT活用に向け、現状の把握と活用に向けた具体的な取組方法を共有し、日々の実践に生かすための推進力を身に付ける。 ※はじめての方は悉皆とします。2年目以降で希望する方も参加できます。	—	6月中旬	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1113	県立学校情報管理担当者研修(高・特)	校務用パソコンや校内ネットワークの管理、コンピュータウイルス対策のための知識及び技術などについて理解する。	G1: 岐阜地区 G2: 西濃地区 G3: 中濃地区 G4: 東濃地区 G5: 飛騨地区	G1~G5: 5月下旬~6月下旬	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1114	県立学校はじめての情報管理担当者研修(高・特)	学校間総合ネットワークの概要や手続の方法、授業での利活用などの基礎的な知識を、演習を通して身に付ける。	—	4月中旬~4月下旬	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小児	中・高	特	形成	向上	充実	貢献	集	回	予	検
1115	校務支援システム(e-教務)担当者研修(高)	校務支援システム担当者に対して、基礎から応用までの操作方法について、研修を行う。(機能全般、年次更新について)	61:基本から応用までの機能全般 62:年度更新機能	61: 4/25(木) PM 62: 2/6(木) PM	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1116	特別支援学級(小・養)・言語通級指導教室 新任担当教員研修	児童一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。	61:岐阜地区 62:西濃地区 63:美濃地区 64:河内地区 65:東濃地区 66:飛騨地区	① 6月上旬頃 ② 8/2(金)頃 ③ 10月初旬頃	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1117	特別支援学級(中・養) 新任担当教員研修	生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。	61:岐阜地区 62:西濃地区 63:美濃地区 64:河内地区 65:東濃地区 66:飛騨地区	① 6月上旬頃 ② 8/5(月)頃 ③ 10月中旬頃	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1118	特別支援学校 新任担当教員研修(特)	幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。	61:岐阜地区 62:西濃地区 63:美濃地区 64:河内地区 65:東濃地区 66:飛騨地区	① 6月上旬頃 ② 8/5(月)頃 ③ 10月中旬頃	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1119	特別支援学校介護員・介護専門職研修	介護員・介護専門職として、自己課題に応じて知識及び技能を習得し指導力を高める。	開催要項を参照	年度内	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1120	特別支援学校寄宿舎指導員研修	特別支援学校の寄宿舎指導員として、自己課題に応じて知識及び技能を習得して専門性の向上を図る。	開催要項を参照	年度内	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1121	市町村立小中学校等事務職員主任研修	市町村立小中学校等事務職員主任として、主体的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主任としての使命感の高揚を図る。	—	7/25(木)	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1122	市町村立小中学校等事務職員主査研修	市町村立小中学校等事務職員主査として、組織的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主査としての使命感の高揚を図る。	—	7/24(水)	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1123	市町村立小中学校等事務職員課長補佐研修	市町村立小中学校等事務職員課長補佐として、学校運営を適切に補佐するために必要な知識及び技能を習得するとともに、課長補佐としての使命感の高揚を図る。	—	7/26(金)	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1124	学校司書資質向上研修(高)	学校図書館の機能、サービスの充実と、学校司書の専門性の向上を目指す、情報資源の活用や新しいサービスの提供など、実務に活用できる方策を学ぶ。	61:集合研修 62:集合研修	61: 6月頃 62: 9月頃	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1125	学校司書エアーマネージャー研修(高)	県立学校図書館支援に必要な知識やスキル、学校図書館を取り巻く最新の動向について再確認するとともに、エアーマネージャーとしての使命や心構えを学ぶ。	—	5月中旬	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1126	事例を通して学ぶいじめ対策対応研修(小・中・養の全ての校長)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、管理職として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、何に留意する必要があるのか等、事案の解決に向け、法に基づいた対応の方法について、弁護士から具体的な事例を通して学ぶ。(112講座生徒指導主事対象との合同オンライン研修)	61:岐阜地区 62:西濃地区 63:美濃地区 64:河内地区 65:東濃地区 66:飛騨地区	5月下旬 PM (1127と同一日)	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1127	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(小・中・養の全ての生徒指導主事)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、担当として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、何に留意し、事案の解決に向けてどのように対応すべきなのかを、弁護士からの事例研究を通して、法に基づいた対応の方法を学ぶ。(112講座校長対象との合同オンライン研修)	61:岐阜地区 62:西濃地区 63:美濃地区 64:河内地区 65:東濃地区 66:飛騨地区	5月下旬 PM (1126と同一日)	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1128	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(高・特の全ての管理職・生徒指導主事等)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、管理職又は生徒指導主事として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、「学校いじめ対策組織」として、どのように対応すべきなのについて研修する。弁護士から法に基づいた対応方法や事例について、グループ演習形式で学ぶ。	—	5/30(木) PM	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・中・高	特	形成	向上	充実	貢献	教員	同窓	オナ	検索
1129	事例を通して学ぶいじめ事業対応研修(高・特の生徒指導担当、教育相談担当、養護教諭、担任等)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案を発見したとき、どのように「初動対応」すべきなのかを、事例を通してグループ演習形式で学ぶ。	-	5/16(木) PM	-	-	◆	◆	◆	◆	-	▲	-	700	基本研修
選択研修 重点講話															
2001	重点講話① DX・情報社会 生成AIと教育の未来 ～生成AIを恐れず活用するために～	生成AI技術の基本と教育現場での活用方法を解説。具体的事例を用いて、教育現場でのAI導入のメリットと課題について考察する。個別学習支援、教材作成の効率化、言語学習の強化など、教育へのAI応用を示す。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	7/3(水) PM	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	600	重点講話
2002	重点講話② いのちの教育 復興を支える人のつながり ～前線と創世の災間で伝える言葉～	東日本大震災と原子力災害の複合災害を受けた福島は、いまだ崩壊と創世の狭間にいる。原子力災害が奪ったものは何か？私たちが守るべきものは何か？人の世に起きたこととは人の言葉で語らなければならない！この信念による口演。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	7月10日(水) PM	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	600	重点講話
2003	重点講話③ 人権教育	未定	-	7/3(水) PM	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	600	重点講話
2004	重点講話④ 特別支援教育 多様な子どもがいることを前提としたインクルーシブ教育 ～発達障害のある子どものバリアとは？～	社会や学校における発達障害のある子どもにとつてのバリアを明らかにし、何をどのようにならなければならないかを共に考えます。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	11/25(月) PM	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	600	重点講話
選択研修 スクールリーダー・アアラカルト研修															
2011	スクールリーダー・アアラカルト研修【リスクマネジメント】 学校外への説明責任	学校におけるリスクマネジメントについて、説明責任を果たすための具体的な対応を、模倣保護者説明会の演習を通して学び、校長としての資質や能力の向上を図る。	校長(園長)・副校長(副園長)	新任校長研修(高特)の1日目と同日午後	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等
2012	スクールリーダー・アアラカルト研修【業務改善】 働き方改革の推進「やりがい」のある学校の実現(仮)	業務の整理や見直しを進め、働き方改革を推進することと、教職員がやりがいを感ずることが生かされる学校をつくることとの両立が求められるなか、管理職に求められるマインドセットと、取りうる方策について、実践例をもとに考える。(仮)	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)、部主事の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	5月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等
2013	スクールリーダー・アアラカルト研修【学校経営】 「いま」の学校に求められるリーダーシップ(仮)	組織におけるリーダーのあり方が変化する中、「いま」の学校で管理職に求められるリーダーシップについて学び、組織の人的資源を生かしながらビジョンをもつて学校経営に臨むことができる力を育成する。(仮)	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	6～7月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等
2014	スクールリーダー・アアラカルト研修【生徒指導】 法規の視点から考える生徒指導	生徒指導専任に対し、学校はどこまで指導できるのか、大いに迷いながら対応することがある。これまでの指導は法規からみて是か非か、弁護士を交え共に考える。	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)、部主事の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	6～7月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等
2015	スクールリーダー・アアラカルト研修【人材育成】 人を育てる仕事のあり方	個々の職員の資質や能力、適性を見極め、各職員が自己の能力を最大限発揮できるための組織編成や人員配置、次代を担う教職員の育成の方策について学び、それらを実践する能力を身に付ける。	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	9～11月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等
2016	スクールリーダー・アアラカルト研修【教育課程】 子どもを育てる評価、教師を育てる評価(仮)	児童生徒を伸ばすだけでなく、教師の力も伸ばすことのできる評価のあり方について学ぶとともに、そうした評価を校内で共有・推進する管理職の職務について知る。(仮)	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)、部主事、主任教諭の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	9～11月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	▲	-	300	管理職等

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・中・高	特	形成	向上	充実	貢献	集合	回数	オプ	検定
2017	スクーラーリーダーアアラカルト研修【ICT活用】 ICTでクリエイティブな学びを	ICTを活用して授業を質的に変容させる手法について、実践例をもとに学びながら、校内でその動きを推進し、広げていくために管理職に求められる方策について考える。(仮)	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	9~11月頃 PM	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	—	—	—	300 管理職等
2018	スクーラーリーダーアアラカルト研修【危機管理】 「性犯罪から子どもを守る」4つの前提条件を理解して、よりよい就業環境を考える	わいせつ行為やセクシャルハラスメントによる問題が後を絶たない、このような行為や犯罪をどうしたら防げるのか、「4つの前提条件」を知り、ストレスの解消や周囲の目が届かない環境の改善など、今できる対応を共に考える。	G1:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭除く)、部主事の希望者 G2:新任教頭研修選択研修希望者 G3:所属長の認めた教諭等	10月下旬 PM	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	—	—	—	300 管理職等
2019 ☆	スクーラーリーダーアアラカルト研修【学校経営】 学校マネジメント能力を開発する	現代の学校教育を表現するために必要なマネジメント能力を、ワークショップを通して開発する。主に「情報収集」プロセスに焦点を当て、自分自身の視野の高さと偏りについて、より高い視点から認知することをめざす。	校長(園長)、副校長(副園長)、教頭	新任教頭研修(高橋) 第4日午後と合同	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	—	—	—	300 管理職等
選択研修 学習指導															
2101	幼児教育指導力向上講座 ～環境構成の工夫や関わり方について考えよう～	幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境構成の工夫や関わり方について、園長による講話や園内参観、園内参観を踏まえての交流や講話を通して研修し、ミドルリーダーに求められる実践的指導力の向上を図る。	G1:公立幼稚園 G2:私立幼稚園	G1:10月中旬 G2:10月中旬	◆	—	◆	○	○	○	—	—	—	—	200 幼児教育
2102	感性を育む幼児教育講座 ～豊かな感性をもち、遊びや活動を楽しむ子どもを育てよう～	「運動遊び」「造形活動」「音楽表現」について、幼児の発達段階に応じた適切な指導の在り方を理解し、保育における実践的な指導力を高める。	—	8/28(月)～8/30(金)	◆	—	◆	○	○	○	—	—	—	—	200 幼児教育
2103	感性を育む絵画指導講座(幼・保・認・小(低)・養・特) ～子ども達の絵について、体験しながら考えよう～	実践や講義、演習を通して、遊びの特性を生かした指導や仲間との交流、用具の適切な扱い方等の指導のポイントについて学び、日々の実践に活かす指導方法を学ぶ。	G1:未定 G2:未定	G1:10月 G2:10月	◆	—	◆	○	○	○	—	—	—	—	200 幼児教育
2104	幼児小連携講座 ～「幼児期の繋がり」まで「育ってほしい姿」を通してつながろう～	幼児期の学びと小学校教育を円滑に接続し、学びの連続性が図られる、施設間、学校段階間の連携の在り方や、「接続期カリキュラム」の編成、改善について、講話や実践交流、演習を通して研修し、両者の教育と幼児小連携への理解の伸長を図る。	—	10月下旬	◆	—	◆	○	○	○	—	—	—	—	200 幼児教育
2105	幼児運動遊び(ACP)指導者講習会 ～遊びを通して体力向上マネジメントの在り方～	日々の教育活動及びび資源を一体的にマネジメントし、生活の中で様々な運動機会の確保を図ったり、多様な動きを凝縮できるような指導の充実を図ったりするなど、幼児期からの体力向上を図るための手法を講義、実技、授業参観等を通して習得する。	G1:未定 G2:未定	G1:6月上旬頃 G2:10月下旬頃 G1、G2ともに半日開催	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	110 体育・保健体育
2106	食育・環境教育実践講座 ～土にふれよう、楽しく育てよう！～	園や学校で実施する食育活動や環境教育について、その指導力を高めるために、栽培や環境学習に関する基礎を学ぶとともに、コツやアイデアの共有を通して実践力を身に付ける。	—	5月中旬もしくは9月上旬の1日	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	205 食育・環境教育
2107 ☆	小学校授業モデル講座(小・義) ～教科の本質や指導のポイントを学び、楽しい授業づくりを目指す～	1日3コマ 指導力を向上したい教科を選択し、その教科の本質や指導のポイントを学び、楽しい授業にステップアップする実践力を高める。 1コマ目 国語、算数、外国語活動 から1教科選択 2コマ目 音楽、図工、家庭科 から教科選択 3コマ目 社会、理科、体育 から1教科選択 ※申込コメントに「3コマの希望教科」を記入する。	—	7/1(月)～7/12(金) 終日	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	100 教科全般	

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・高	中・高	特	形成	向上	充実	貢献	集合	同双	オテ	検索
2108 ☆	★ 放課後オンラインミニ相談会 ～あなたの困り感に寄り添う～	「どうすれば効果的に力が付けられるのだろうか?」そんな疑問に対して道筋が付く講座。単元(題材)づくり、単位時間づくり、教科の指導法など、先生方の相談・質問に対応した相談会を行う。途中からの参加、途中までの参加も可能。気軽に参加することができる。(相談会のため研修履修には含まない。) ※申込コメントに校務で使う「メールアドレス」と「相談したい項目(例:単位時間の指導法)」を合わせて70文字以内で記入する。	G1: 国語 G2: 社会 G3: 算数、数学 G4: 理科 G5: 音楽 G6: 図画工作、美術 G7: 技術 G8: 家庭 G9: 体育、保健体育 G10: 外国語活動、外国語	未定: 年間3回 15:30～16:30	—	◆	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	100 教科全般
2109 ☆	★ 校内研修サポート出前講座(小・中・高) ～協働的な職場環境づくり～	令和5年度より配置された「研修主事」を支えるための講座。各校の要望に応じて指導主事が学校に出向き、学び合い文化の醸成を図るための方法を研修主事と共に考える。また、年間を通じて関わりをもち、各校の特色ある教育活動や校内研究なども支援する。 ※申込みは別途開催要項HPに掲載の申込用紙(様式1)にて	—	希望日(複数日)	—	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	—	100 教科全般
2111	★ スターアップ講座(小・高 国語) ～資質・能力が効果的に身に付く国語の授業づくり～(G1～G3は別内容、別講座。受講を希望する講座それぞれに申込みを行う。) (例) G1: 受講を希望...G1のみ申込み G1からG3受講を希望 ...G1からG3すべて申込み	国語の資質・能力が身に付く授業を求めて、実践を見つめ直し、何をどのように授業改善するとよいか、講義やワークショップ、実践交流、授業参観等を通して共に考える。 G1: 基礎的・基本的な国語の内容を理解するための研修(オンライン・午後) G2: 学調の結果等から実践を振り返り、単元組み、授業展開を見直す研修(参集・終了日) G3: 国語の授業を過年10名程度で考え、その中の1名による授業参観を行う。また、指導案検討をオンラインで行ったり、授業提供校に参集したりして研究会を行う。(1日) 参集・午後、2日目: オンライン・午後、3日目: 授業提供校参集・午後	G1: 基礎・基本の理解編 G2: 字調からの授業改善編(年3回) G3: 授業研究編(年3回) 1日目: ガイダンス+計画づくり 2日目: 授業検討会 3日目: 授業研究会	G1: 7月 PM G2: 10月 終日 G3: 1日目: 7月 PM 2日目: 9月 PM 3日目: 10月 PM	—	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	—	101 国語
2112	★ スターアップ講座(小・高 社会) ～社会科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた社会科指導の改善～(G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・高 国語を参照)	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研を通して共に考える。 G1: 基礎的・基本的な社会科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン・午後) G2: 授業実践の計画を立て、模擬授業や実践交流を行う。(①計画づくり: オンライン②模擬授業、実践交流: 参集) G3: 社会科の授業を過年10名程度で考え、その中の1名による授業提供を行う。また指導案検討をオンラインで行ったり、授業提供校に参集したりして研究会を行う。(①オンライン ②オンライン ③授業提供校参集: 午後)	G1: 基礎・基本の理解編(オンライン研修午後) G2: 授業づくり ①オンライン研修(午後) ②集合研修(午後) G3: 授業研究 ①ガイダンス ②指導案検討会 ③授業参観、研究会	G1: 7月上旬 G2: ① 5月上旬 PM ② 10月下旬 PM G3: ②5月中旬 PM ③9月 PM ③10月	—	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	—	102 社会・地理歴史・公民
2113	★ スターアップ講座(小・高 算数) ～資質・能力を子どもたちに育むための算数科の授業づくり～(G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・高 国語を参照)	算数科において育成を目指す資質・能力を子どもたちに育むために、講義、演習、授業参観等を通して、教育的な見方・考え方を働かせること、数学的活動の具体を共に考える。 G1: 基礎的・基本的な算数の内容を理解するための研修(オンライン・午後) G2: 学調の結果等から実践を振り返り、授業改善を図る研修(参集・終了日) G3: 統計の授業を過年10名程度で考え、その中の1名による授業参観を行う。また、指導案検討をオンラインで行ったり、授業提供校に参集したりして研究会を行う。(1日) 参集・午後、2日目: オンライン・午後、3日目: 授業提供校参集・午後)	G1: 基礎・基本の理解編 G2: 字調からの授業改善編(年3回) G3: 授業研究編(年3回) 1日目: ガイダンス+計画づくり 2日目: 授業検討会 3日目: オンライン授業研究会 授業研究	G1: 7月 PM G2: 1日目: 7月 PM 2日目: 9月 PM 3日目: 10月 PM	—	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	—	103 算数・数学
2114	★ スターアップ講座(小・高 理科) ～原簿が主体的に問題解決に向かう授業づくりに向けて～(G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・高 国語を参照)	理科の資質・能力を育成するために、実践を振り返り、講義や演習、実践交流、授業参観等を通して、授業改善について共に考える。 G1: 観察・実験についての指導を振り返り、観察、実験の演習を通して、指導力を高める。 G2: 理科で大切にしたいことを理解し、単元計画や授業デザインについての指導力を高める(授業を受講者で検討し、授業参観、研究会を行う。10名程度) G3: 指導計画と評価についての理解を深め、実践に向けて指導力を高める	G1: 基礎・基本の理解編 G2: 字調からの授業改善編(年3回) G3: 授業研究編(年3回) 1日目: 授業参観者決定 2日目: 授業検討会 3日目: 授業参観、研究会 G3: 指導計画と評価編	G1: 6月下旬又は7月 終日 G2: 1日目 7月 PM 2日目 9月 PM 3日目 10月以降 終日	—	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	—	104 理科

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小童	中童	高	特	形成	向上	充実	貢献	同	双	女子	検索	
2115	ステーションアップ講座(小・義務 音楽) ～原簿の学びが広がる。広がり深まる題材構想の在り方について、仲間と共に考え、学び合おう～ (G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・義務 英語を参照)	学習指導要領の内容を踏まえて、音楽科の授業・能力を育成するために、児童が音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動の具体やよりよい題材構想の在り方について、講義や演習、実践交流等を通して共に考える。	G1:低学年 G2:中学生 G3:高学年	1日:講義(G1・2・3共通) 6月下旬15:30～16:30 2日:実践交流・演習 G1:9月下旬 G2:10月上旬 G3:10月上旬	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	106 音楽	
2116	ステーションアップ講座(小・義務 図画工作) ～生活や社会の中の形や色など豊かに関わらる養育・能力の育成を目指して～ (G1、G2は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・義務 英語を参照)	小学校図画工作科の目標である生活や社会の中の形や色など豊かに関わる養育・能力の育成を目指し、学習指導要領の趣旨を深く理解したり、題材等の見直し、個別最適な学びや協働的な学びの視点をもちたりする。	G1:基礎・基本(午後) G2:小・中連携 1日目 ※2134・G2とセット	G1:10月 PM G2:6月 PM	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	107 図画工作・美術	
2117	ステーションアップ講座(小・義務 体育) ～豊かなスポーツライフの実現に向けて～	学習指導要領を理解するとともに、体育の見方・考え方を働かせながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手法や指導と評価等について、講義・演習・ディスカッションによって学ぶ。	—	9月上旬頃 終日開催	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	110 体育・保健体育	
2118	ステーションアップ講座(小・義務 家庭) ～授業づくりの悩みを解決、実践例を増やそう～ (G1、G2は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・義務 英語を参照)	小学校学習指導要領の趣旨を理解し、家庭科で育成したい資質・能力を育成するために、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた授業づくりについて、講義や演習、実践交流等を通して学び、指導力の向上を図る。	G1:基礎・基本の理解編 G2:授業研究編	G1:9月頃 G2:10月～11月頃	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	108 家庭・福祉	
2119	ステーションアップ講座(小・義務 生活) ～気付きの質を高める授業づくりに向けて～ (G1、G2は別内容、別講座 申込み方法は、2111小・義務 英語を参照)	「気付き」の質を高める生活科の授業の実現に向けて、講義や演習、授業参観等を通して、生活科指導の在り方について共に考える。 G1:生活科で大切にしたいことを理解し、単元計画や授業デザインについての指導力を高める(授業を受講者で検討し、授業参観、研究会を行う。10名程度) G2:指導計画と評価についての理解を深め、実践に向けて指導力を高める	G1:基礎・基本の理解編 1日目:講義+授業参観 2日目:授業参観 3日目:授業参観、研究会 4日目:授業参観、研究会 5日目:授業参観、研究会 6日目:授業参観、研究会 7日目:授業参観、研究会 8日目:授業参観、研究会 9日目:授業参観、研究会 10日目:授業参観、研究会 11日目:授業参観、研究会 12日目:授業参観、研究会 13日目:授業参観、研究会 14日目:授業参観、研究会 15日目:授業参観、研究会 16日目:授業参観、研究会 17日目:授業参観、研究会 18日目:授業参観、研究会 19日目:授業参観、研究会 20日目:授業参観、研究会 21日目:授業参観、研究会 22日目:授業参観、研究会 23日目:授業参観、研究会 24日目:授業参観、研究会 25日目:授業参観、研究会 26日目:授業参観、研究会 27日目:授業参観、研究会 28日目:授業参観、研究会 29日目:授業参観、研究会 30日目:授業参観、研究会 31日目:授業参観、研究会 32日目:授業参観、研究会 33日目:授業参観、研究会 34日目:授業参観、研究会 35日目:授業参観、研究会 36日目:授業参観、研究会 37日目:授業参観、研究会 38日目:授業参観、研究会 39日目:授業参観、研究会 40日目:授業参観、研究会 41日目:授業参観、研究会 42日目:授業参観、研究会 43日目:授業参観、研究会 44日目:授業参観、研究会 45日目:授業参観、研究会 46日目:授業参観、研究会 47日目:授業参観、研究会 48日目:授業参観、研究会 49日目:授業参観、研究会 50日目:授業参観、研究会 51日目:授業参観、研究会 52日目:授業参観、研究会 53日目:授業参観、研究会 54日目:授業参観、研究会 55日目:授業参観、研究会 56日目:授業参観、研究会 57日目:授業参観、研究会 58日目:授業参観、研究会 59日目:授業参観、研究会 60日目:授業参観、研究会 61日目:授業参観、研究会 62日目:授業参観、研究会 63日目:授業参観、研究会 64日目:授業参観、研究会 65日目:授業参観、研究会 66日目:授業参観、研究会 67日目:授業参観、研究会 68日目:授業参観、研究会 69日目:授業参観、研究会 70日目:授業参観、研究会 71日目:授業参観、研究会 72日目:授業参観、研究会 73日目:授業参観、研究会 74日目:授業参観、研究会 75日目:授業参観、研究会 76日目:授業参観、研究会 77日目:授業参観、研究会 78日目:授業参観、研究会 79日目:授業参観、研究会 80日目:授業参観、研究会 81日目:授業参観、研究会 82日目:授業参観、研究会 83日目:授業参観、研究会 84日目:授業参観、研究会 85日目:授業参観、研究会 86日目:授業参観、研究会 87日目:授業参観、研究会 88日目:授業参観、研究会 89日目:授業参観、研究会 90日目:授業参観、研究会 91日目:授業参観、研究会 92日目:授業参観、研究会 93日目:授業参観、研究会 94日目:授業参観、研究会 95日目:授業参観、研究会 96日目:授業参観、研究会 97日目:授業参観、研究会 98日目:授業参観、研究会 99日目:授業参観、研究会 100日目:授業参観、研究会	G1:1日目 6月下旬又は7月 終日 2日目 9月 PM 3日目 10月以降 終日 県大会の授業参観の場合 1日目:講義 2日目:11月15日(金) G2:9月以降 終日	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	105 生活	
2120	「NEW! GIFUウェブアラウンド」に関する研修 ～データを活用して指導力アップ・楽しく学ぶ～ 学カアップ～	ICT端末やタブレットの有効活用に関する教職の基礎形成を図るため、「教科学習Webシステム」を用いた演習を通して、実際の授業で活用する力を身に付ける。	—	G1:6/14(金) PM G2:8/21(水) PM	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	103 算数・数学	
2121	遊びを活用した体力向上指導者講習会 ～楽しい体育授業の趣意～	体力向上を図るための遊びを活用した楽しい体育授業の手法を、講義と実技を通して学ぶ。	—	11月下旬頃 半日開催	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	110 体育・保健体育	
2122	ステーションアップ講座(小・義務) ～今の授業を振り返り、さらに楽しくしよう!明日からできることを～	外国語活動及び外国語科の指導と評価の在り方、言語活動の工夫、教科書の扱い方等について、講義、授業参観や実践交流を通して学ぶ。 G1:(授業参観)英語教育推進校等の授業参観を通して、英語教育の理論や授業の作り方を学ぶ。 G2:(研修)教科書を活用した具体的な指導方法について学ぶ。また、他校の先生方との交流を通して、言語活動のアイデアを増やす。受講申し込みの記入に困っていること、知りたいことを記入すること(外部講師招聘の予定)。	G1:各小学校(集合研修) G2:言語活動の具体(集合研修)	G1:英語教育推進校等の授業参観2校の公開日 G2:10月下旬に開催(講師の予定による)	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	111 外国語活動・外国語	
2123	小学校英語専科教員 英語科担当教員講座 ～専科・英語科教員としての指導力を向上させ、『中学校の英語学習に繋がる6年生出口で目指したい』英語の力』を育成しよう～	外部講師からの講義を通して、学習指導要領を踏まえた小学校英語教育に求められる指導の在り方について理解を深める。高学年で「教科 英語」を指導している教員にもおすすすめ。中学校の英語学習に繋がる6年生出口で目指したい「英語の力」を明確にする。受講申し込みの記入に困っていること、知りたいことを記入すること。	G1:集合研修 G2:集合研修	G1:6月下旬予定 G2:7月上旬予定 ※講師の予定による	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2124	e-Learning 小学校外国語講座 ～オンライン研修で指導力・英語力を向上させよう～	文部科学省主催のオンライン研修を通して、授業で言語活動を行う際に必要な英語力を含めた実践的な指導力を身に付ける。希望すればオンライン英会話も有。 ※オンライン・オンライン・オンライン研修は合計20時間程度、研修期間は5月～1月(予定)	—	文部科学省が定めた期間	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	111 外国語活動・外国語	

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小童	中童	高	特	形成	向上	発表	貢献	集合	両	オ	検
2125 ☆	ステーションアップ講座英語指導力向上講座(小・中・高)～外部講師から学ぶ、教材研究～まずは楽しい授業を目指して～	小学校に担任し、初めて英語を教えることになった教員を対象とした講座。また、将来教える可能性のある教員を対象とした講座。英語の勉強がなくても大丈夫。基本的な授業のつくり方と楽しい言語活動について学ぶ。受講申し込みの際には、現在困っていること、知りたいことを記入すること。研修内容にできるだけ反映させる。	—	9/6(金)	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	▲	—	111 外国語活動・外国語	
2126 ☆	ステーションアップ講座英語指導力向上講座(小・中・高)～外部講師から学ぶ、教材研究～指導と評価と単元計画～	県でもキーワードとして大切にしている「指導と評価の一体化」。これを具現化する実際の指導について、外部講師から学ぶ。受講申し込みの際には、現在困っていること、知りたいことを記入すること。講師と情報共有する。	—	10/22(火) ※講師との打ち合わせ日による	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	▲	—	111 外国語活動・外国語	
2127 ☆	ステーションアップ講座英語指導力向上講座(出張講座)～英語教員のあなただけを一年間支えます～	受講者は勤務校で研修を一年間継続して受けられます。授業を見ての助言や、指導案づくり、教材開発、教科部会への参加などを行います。また、研修で作成した教材を活用したり、学校の研究テーマを進める方法を考えたりするなど、みなさんのパートナーとなります。受講者の要望に応じ、時期や方法は変更可能。公設会や学校研究会を控えている先生方にもひびいたり！受講申し込みの際には、現在困っていること、知りたいことを記入すること。 ※教科部員全員などグループで申し込みの場合でも、一人一人が研修の申し込みをしてくださいます。応募が多い場合には、研修課にて抽選を行います。小・中学校で各5名程度を想定。	—	※受講者の希望による	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	▲	—	111 外国語活動・外国語	
2129	ステーションアップ講座(中・義 国語)～資質・能力が効果的に身に付く国語の授業づくり～(G1～G3は別内容、別講座。受講を希望する講座をそれぞれに申込みを行う。) (例)G1:受講を希望...G1のみ申込み G1からG3受講を希望... ...G1からG3すべて申込み	国語の資質・能力が身に付く授業を求めて、実践を見つめ直し、何をどのように授業改善するとよいか、講義やワークショップ、実践交流、授業参観等を通して共に考える。 G1:基礎的・基本的な国語の内容を理解するための研修(オンライン、午後) G2:学調の結果等から実践を振り返り、単元組み、授業展開を見直す研修(参集・終日) G3:国語の授業を10名程度で考え、その中の1名により授業参観を行う。また、指導案検討をオンラインで行ったり、授業提供校に参集したりして研究を行う。(1日) 参集・午後、2日目:オンライン・午後、3日目:授業提供校参集・午後)	G1:基礎・基本の理解編 G2:学調からの授業改善編 G3:授業研究編(年3回) 1日目:ガイダンス+計画づくり 2日目:授業検討会 3日目:授業研究会	G1:7月 PM G2:10月 終日 G3:10月 PM 2日目:9月 PM 3日目:10月 PM	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	▲	—	101 国語	
2130	ステーションアップ講座(中・義 社会)～社会科学における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた社会科学科指導の改善～(G1～G3は別内容、別講座。申込み方法は、2129中・義 国語を参照)	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究を通して共に考える。 G1:基礎的・基本的な社会科学科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン、午後) G2:授業実践の計画を立て、模擬授業や実践交流を行う。(①計画づくり:オンライン②模擬授業・実践交流:参集) G3:事実認識を獲得し、価値認識を形成する社会科学科授業実践(美濃地区 中学校)についての指導案検討、授業研究会に参加する。(①指導案検討:オンライン、②授業研究会:授業提供校参集)	G1:基礎・基本の理解編(オンライン研修午後) G2:授業づくり G3:オンライン研修(午後) G4:集合研修(午後) G5:授業研究会 G6:指導案検討会 ①未定 ②未定	G1:7月上旬 G2:①5月上旬 PM ②10月下旬 PM G3:①未定 ②未定	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	▲	—	102 社会・地理歴史・公民	
2131	ステーションアップ講座(中・義 数学)～資質・能力を子どもたちに育むための数学科の授業づくり～(G1～G3は別内容、別講座。申込み方法は、2129中・義 国語を参照)	数学科において育成を目指す資質・能力を子どもたちに育むために、講義・演習・授業参観等を通して、教員の見方・考え方を働かせること、数学的活動の具体を共に考える。 G1:基礎的・基本的な算数の内容を理解するための研修(オンライン、午後) G2:学調の結果等から実践を振り返り、単元、授業展開を見直す研修(参集・終日) G3:統計の授業を10名程度で考え、その中の1名による授業参観を行う。また、指導案検討をオンラインで行ったり、授業提供校に参集したりして研究を行う。(1日) 参集・午後、2日目:オンライン・午後、3日目:授業提供校参集・午後)	G1:基礎・基本の理解編 G2:学調からの授業改善編 G3:授業研究編(年3回) 【1日目】ガイダンス+計画づくり 【2日目】オンライン授業検討会 【3日目】授業研究会	G1:7月 PM G2:10月 終日 G3:10月 PM 2日目:7月 PM 3日目:10月 PM	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	▲	—	103 算数・数学	
2132	ステーションアップ講座(中・義 理科)～生徒が科学的に探究する授業づくりに向けて～(G1～G3は別内容、別講座。申込み方法は、2129中・義 国語を参照)	理科の資質・能力を育成するために、実践を振り返り、講義や演習、実践交流、授業参観等を通して、授業改善について共に考える。 G1:観察・実験についての指導を振り返り、観察、実験の演習を通して、指導力を高める G2:理科で大切にしたいことを理解し、単元計画や授業デザインについての指導力を高める(授業を受講者で検討し、授業参観、研究会を行う。10名程度) G3:指導計画と評価について指導力を高める	G1:精査・実験の工夫編 G2:基礎・基本の理解編 1日目:講義+授業者決定 2日目:授業検討会 3日目:授業参観、研究会 G3:指導計画と評価編	G1:10月以降 終日 G2:10月 7月 PM 2日目:9月 PM 3日目:10月以降 終日 G3:9月以降 終日	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	▲	—	104 理科	

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	効歴	小誌	中誌	特	形成	向上	充実	貢献	集合	両双	オキ	授業	
2133	スティーブアップ講座(中・藝 音楽) ～生徒の学びにつながる、広がり深まる題材構 想の在り方について、仲間と共に考え、学び合 う～ (G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、 2129中・藝 国語を参照)	学習指導要領の内容を踏まえ、音楽科の資質・能力を育成するために、生徒が音楽的な 見方・考え方を働かせる学習活動の具体やよりよい題材構想の在り方について、講義や 演習、実践交流や授業研究会等を通して共に考える。	G1:基礎・基本編 G2:授業研究編(芸術領域) G3:授業研究編(鑑賞領域)	1日目:講義(G1～G3共通) 7月上旬 15:30～16:30 2日目 G1:10月下旬 実践交流 G2:10月下旬 授業参観・研究会 実践交流 G3:10月中旬 授業参観・研究会 実践交流	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	106 音楽	
2134	スティーブアップ講座(中・藝 美術) ～生や社会の中の美術や芸術文化と豊かに 関わる資質・能力の育成を目指して～ (G1、G2は別内容、別講座 申込み方法は、 2129中・藝 国語を参照)	中学校美術科の目標である生活や社会の中の美術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力 の育成を目指し、学習指導要領の趣意を深く理解し、教材等の見直し、個別最適な 学びや協働的な学びの実践、ICTの活用等の視点をもつたりする。	G1:基礎・基本(午後) G2:小・中連携2日目 ※2116・62とセット	G1: 9月 PM G2: 11月 PM	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	107 図画工 作・美術
2135	スティーブアップ講座(中・藝 保健体育) ～豊かなスポーツライフの実現に向けて～	学習指導要領を理解するとともに、体育の見方・考え方を働かせながら「主体的・対話 的で深い学び」を実現するための手法や指導と評価等について、講義・演習・ディス カッションによって学ぶ。	—	9月中旬頃 終日開催	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110 体育・保 健体育
2136	スティーブアップ講座(中・藝 技術) G1～技術分野の最終ミッション「総合的な問題 解決」の授業実践力向上をめざそう～ G2～ネットワークを利用した双方向性のあるプ ログラムの教材を開発しよう～ G3～各内容の「締め」となる「社会の発展と技 術」の授業実践について考えてみる～ (G1～G3は別内容、別講座 申込み方法は、 2129中・藝 国語を参照)	G1:技術の見方・考え方を働かせて、課題の設定、問題の発見と設計・計画、問題の解 決、成果の評価という適切な学習過程を経ていく教科経営について理解を深める。 G2:「プロトタイプ」などの「既存の教材」から脱し、目の前にいる生徒の実態に照ら した「ネットワーク」を利用した双方向性のある「プログラミング」の教材を開発する。制 作した教材を、その後の教育活動で役立つことをめざすものとする。 G3:各内容の問題解決後の「社会の発展と技術」の学習場面は、授業公開の機会が少な いため、研究会等でのような実践で深めにくくることが望ましいか、と議論される機会 にも含まれていない。見方・考え方を働かせて問題を解決してきた生徒たちを、いかに して次のステージに誘うのかについて検討する。	G1:授業実践力向上 G2:教材の開発 G3:「社会の発展と技術」 の授業実践について	G1:9/25(水) 終日 G2:10/23(水) 終日 G3:12/11(水) 終日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2137	スティーブアップ講座(中・藝 家庭) ～生活を工夫し創造する資質・能力を育てる、 楽しい家庭科授業～ (G1、G2は別内容、別講座 申込み方法は、 2129中・藝 国語を参照)	中学校学習指導要領の趣意を理解し、家庭科で育成したい資質・能力を育成するため に、生活の営みに係る見方・考え方を働かせた授業づくりについて、講義や演習、実践 交流等を通して学び、指導力の向上を図る。	G1:基礎・基本の理解編 G2:授業研究編	G1: 6月頃 G2: 10月～11月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福 祉
2138	スティーブアップ講座(中・藝 英語) ～今の英語の授業を見直し、さらに楽しくしよ う！明日からできることを！～	外国語活動及び外国語科の指導と評価の在り方、言語活動の充実、教科書の扱い方等に ついて、講義、授業参観や実践交流を通して学ぶ。 G1:(授業参観)英語教育推進校等の授業参観を通して、理論や授業の作り方を学ぶ。 小学校で英語を指導している教員も可。 G2:(研修)外部講師の講義を通して、教科書を活用した言語活動の具体を学ぶ。交流 する。言語活動の幅を広げ、楽しくコミュニケーション活動ができるようにする。受講 申し込みの際には、現在困っていること、知りたいことを記入すること。	G1:各中学校(集合研修) G2:言語活動の具休(集合 研修)	G1:英語教育推進校等の公 募日11月頃を予定 G2:9月下旬に開催予定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活 動・外国語
2139	e-Learning 中・高等学校英語講座 ～オンライン研修で英語指導力を向上させよう ～	文部科学省主催のオンライン研修を通して、効果的な指導方法を身に付ける。 ※オンライン・オンデマンド研修は合計20時間程度、CEFR B1以上が要件。終了証も発 行される。	—	文科省が定めた期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活 動・外国語
2140	スティーブアップ講座(中・藝 英語) ～生徒の力を正しく把握し、指導に生かすため のテスト改善！テスト問題の種類を増やそう！ ～	外部講師からテストを作成する際の基本的な知識について学ぶ。TOEICなどの外部試験 を題材としながら、多様な問題形式を知る。他校の教員とも交流し、テスト作成のアイ ディアを広げる機会とする。受講申し込みの際には、現在困っていること知りたいこと を記入すること。	—	※10月開催予定 時期は未定 講師との打ち 合わせによる	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活 動・外国語

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小児	中・高	科	形成	向上	突	夏	合	同	双	才	検	査	
2151	授業改善講座(高・情報) ～実践に学ぶ！～ ～実践に学ぶ！～ ～実践に学ぶ！～	高等学校及び特別支援学校の情報科の教育を推進するため、学習指導要領を踏まえた生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や学習評価について学び、日々の実践に生かすための力を身に付ける。	G1: はじめての情報I (オンライン研修) G2: 外部装置micro:bitの活用 G3: 情報I 情報デザイン授業づくり(オンライン研修) G4: 情報II 授業づくり G5: 専門教科授業づくり(オンライン研修) G6～G7: 授業研究	61: 4月頃 62: 5～7月頃 63: 5～7月頃 64: 未定 65: 7～9月頃 66～67: 11～1月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2152	授業改善講座(高・商業) ～実践から学ぶ、資質・能力を育成する授業！～	ICT機器の活用を踏まえながら、育成したい資質・能力を意識した授業について学ぶ実践講座。新しい授業の在り方について研究し、授業力を高める。※授業力向上推進プロジェクトと合同で開催。	G1: ICT機器を活用した授業研究等 G2: 11月頃 G3: 12月頃	61: 7/12(金) PM 62: 11月頃 63: 12月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	115 商業
2153	英語指導力向上講座(高)① ～生徒の学びを深める発問とは～	より深い思考を促す発問を核とした授業づくりについて、講義やワークショップを通して、経験豊富な外部講師から体系的に学ぶ。<集合研修>	—	未定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2154	英語指導力向上講座(高)② ～すぐに実践できるアイデアを共有します～	放課後の45分間で各回1つのテーマを扱うミニ講座。講義や意見交換を通じて実践事例を学ぶ。<オンライン開催>	G1: スピーチコンテストに向けた指導方法 G2: ベーバーテストの作成改善 G3: 生成AIの活用(上記テーマは本定)	61: 7月中旬 62: 9月上旬 63: 12月上旬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2155	技術力向上講座(小・中・高)特・家庭・福祉) ～家庭・福祉の実践指導力向上を目指して～	教科「家庭」では、居分野の指導内容における知識と技術を高める。教科「福祉」では、介護及び社会福祉における知識と技術を高める。	G1: 家庭 G2: 福祉	61: 8/19(月)か8/20(火)か8/23(金) 62: 7月下旬～8月下旬PM	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2156	技術を生かした農業の授業づくり講座(高・農業) ～農業の「深い学び」につなげる専門力・授業力の向上～	農業の各分野において求められる技術を追求し、高い知識・技術を身に付けるとともに、農業の「見方・考え方」を動かした深い学びにつなげる指導方法を学ぶ。	G1: 生産系 G2: 加工系 G3: 森林・環境系 G4: 情報系	G1: 7月下旬～8月上旬 ②10/中下旬 G2: 7月下旬～8月上旬 ②10/中下旬 G3: 8/1(木) ②10/中下旬 G4: 7月中旬～下旬頃 1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	113 農業
2157	モノづくりスキルアップ講座 ～各専門分野の技術や技能を学び、モノづくりスキルアップ！～	授業や実習等における、モノづくりの各専門分野に関する知識・技能の深化を目指す。自動車整備、電気系、木材加工、ろくろ成形の各技術・技能について講義や実習を通して習得し、将来を担う生徒たちが産業界におけるスペシャリストとして活躍できるように、教員自身の「モノづくり」指導力を向上させる。※工業高校との連携を踏まえて、小中義務学校の教員も受講可能。	G1: 自動車整備等(機械系) G2: 講習内容本定(電気系) G3: 木材加工機械安全講習(建築系) G4: ろくろ成形(地域産業系)	61: 8月5日 62: 8月頃 63: 8月頃 64: 8月頃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	114 工業
2158	マーケティング戦略講座(高・商業) ～地域に人を呼び、地域のファンを作る実践的マーケティング授業～	地域資源等を活用して、地域に人を呼び、地域のファンを作るためのファンマーケティングに付ける。	—	9/8(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	115 商業
2159	「特別の教科 道徳」の授業づくり(小・中・高)～授業づくりのポイントを学ぶ～	学習指導要領の内容を踏まえ、「特別の教科 道徳」の授業づくりについて、基礎的・基本的な指導の在り方について学ぶ。	—	6月上旬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116 道徳
2160	「特別の教科 道徳」の授業づくり(中・高)～授業づくりのポイントを学ぶ～	学習指導要領の内容を踏まえ、「特別の教科 道徳」の授業づくりについて、基礎的・基本的な指導の在り方について学ぶ。	—	6月上旬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116 道徳
2161	授業改善講座 道徳教育と「特別の教科 道徳」(小・中・高: 理編)	学校における道徳教育の推進の在り方、道徳教育の要としての「特別の教科 道徳」の指導の充実について理解を深め、今後の指導の方向を見いだし、指導に生かす。	—	6月中旬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	116 道徳

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小童	中童	高童	特形	向上	充実	貢献	集同	双	子	検査
2162	授業改善講座 道徳教育と特別の教科 道徳(小・中・高・養・実履場) ~自分の知見や経験を生かし、互いに学び合う~	学校における道徳教育の推進の在り方、道徳教育の要としての「特別の教科 道徳」の指導の充実について協議し、明日からの実践に生かす。	-	11月下旬	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	116 道徳
2164	総合的な学習の時間(小・中・養) ~探究的な学習の充実に向けた指導~	学習指導要領の趣旨を踏まえ、探究課題の設定やカリキュラム作成の具体を学び、自校のカリキュラムを見直すとともに、探究的な学習の進め方について理解する。	-	9/2(月)~12/20(金) PM	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	117 総合的な学習・探究の時間
2165	総合的な探究の時間(高・特) ~探究から始まる学びの充実~	教職の基礎形成を図るため、「総合的な探究の時間」の特質を知り、探究課題の設定や探究活動の方法、考え方を身に付けるとともに、実践事例から指導ポイントを探り、自校での実践に生かす。	-	未定	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	117 総合的な学習・探究の時間
2166	日本の伝統音楽のよさを学ぶ ~日本の伝統音楽のよさを体験！講師から学ぶ「和太鼓」等「篠笛」「邦楽発声」の基礎講座	和太鼓、箏、篠笛、邦楽発生の基礎的な表現を体験することを通して、我が国の伝統音楽のよさや美しさを実感し、児童生徒への日本の伝統音楽の指導に生かせるようになる。	G1: 篠笛 G2: 邦楽発声、箏 G3: 邦楽発声、和太鼓	G1: 9月下旬 G2: 9月中旬 G3: 9月中旬	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	106 音楽
2167	家庭科実技講習会(小・中・養・高・特) ~家庭科の基礎的な実技の指導力を身に付けよう~	小学校、中学校及び義務教育学校並びに高等学校、特別支援学校の家庭科において、教科指導の基礎的な内容及び教科指導の上で必要な実技指導に関する研修を通して、日々の実践に活かす指導方法を学ぶ。	-	6月頃	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	108 家庭・福祉
2168	法曹三者から学ぶ司法の仕組み ~法曹三者の臨から、司法の仕組みに対する理解を深めよう~	検察官、弁護士、裁判官の話を聞いたり、裁判所や警察署を見学したりして、各校種における法教育の具体的な実践方法について考える。	-	8月下旬	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	102 社会・地理歴史・公民
2169	高校を取り巻く社会の変化 ~高校生と法教育~	岐阜県弁護士会所属弁護士による高校出前授業を通して、高校生の法や人権に関する意識の涵養について学ぶ。1日目はオンラインによる事前研修、2日目は各地区の高等学校での参観授業。	G1: 岐阜地区 G2: 西濃地区 G3: 中濃地区 G4: 東濃地区 G5: 飛騨地区	1日目: 9月 2日目: 10~翌2月	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	102 社会・地理歴史・公民
2170	ALTとの授業デザイン研修 ~授業を英訳のコミュニケーションの場とするためにALTとどんな授業ができるのか~	ALTとの授業をより効果的に実践する方法について、集合形式での講義やワークショップを通して、経験豊富な外部講師から実践的に学ぶ。	G1: 小・養 G2: 中・養・高	7月頃	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	111 外国語活動・外国語
2171	JETプログラム 岐阜県外国語指導助手の指導力向上研修 ~ALTとの関係づくり、授業づくりに向けて~	JETプログラムに参加しているALTが必要な知識・指導技術等を習得してより効果的な授業ができるように、英語教員とともに外国語教育に係る講義・演習や教材交流を通して実践的に学ぶ。 ※研修申込システムへの申込不要(別途案内)	-	9月中下旬	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	111 外国語活動・外国語
2172	薬物乱用防止教育講習会(体育保健領域・特別活動等) ~薬物乱用防止教室のさらなる充実のために~	薬物乱用防止教育の更なる充実に向け、薬物乱用防止教室を行うための最新の知見と実践力を身に付ける。	-	9月から11月頃予定	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	110 体育・保健体育
2174	養護教諭・栄養教諭の実践から学ぶ ~健康教育・食育の在り方~	養護教諭、栄養教諭が行っている実践から学ぶとともに、健康教育・食育の在り方について交流する。	-	10/31(木)	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	207 健康教育
2175	武道(剣道)指導者講習会 ~安全で楽しい剣道の指導方法を学ぶ~	学習指導要領の内容に則した安全で楽しい剣道の指導方法を、講義と実技を通して学ぶ。	-	10月下旬頃	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	110 体育・保健体育
2176	運動部活動指導技術向上講習会(全種目トレーニング法) ~指導方法の引き出しを増やそう！~	講義と演習を通して、種目に関わらず、合理的かつ効果的・効率的なトレーニング理論や方法について学ぶ。	-	6月上旬頃	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	110 体育・保健体育
2177	運動部活動指導技術向上講習会(バスケットボール) ~指導上の課題や悩みを解決しよう！~	講義と演習を通して、バスケットボールの特性に合わせた合理的かつ効果的・効率的な指導方法や練習内容について学ぶ。	-	6月中旬頃	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	▲	-	-	110 体育・保健体育

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小	中	高	特	形成	向上	充実	貢献	集合	回数	オプ	校案
2178	運動部活動指導技術向上講習会【バドミントン(女子指導)】 ～専門性を高め、指導に役立てよう！～	講義と演習を通して、バドミントンの特性に合わせた合理的かつ効果的・効率的な指導方法や練習内容について学ぶ。	-	11月中旬頃	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	◆	▲	-	-	110 体育・保健体育
2179	大学入試問題研究講座(高・国語) ～これからの時代に求められる学力とは生徒の夢の実現を目指して～	外部講師による新しい大学入試制度の分析を踏まえ、これからの社会に必要な資質・能力を育てる指導や授業の在り方について学ぶ。	-	9月下旬頃	-	-	-	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	101 国語
2180	大学入試問題研究講座(高・数学) ～これからの時代に求められる学力とは生徒の夢の実現を目指して～	外部講師による新しい大学入試制度の分析を踏まえ、これからの社会に必要な資質・能力を育てる指導や授業の在り方について学ぶ。	-	9月下旬頃	-	-	-	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	103 算数・数学
2181	大学入試問題研究講座(高・外国語) ～生徒の夢の実現のために求められる英語指導法とは～	外部講師による大学入試制度の分析を踏まえ、これからの社会に必要な資質・能力を育てる指導や授業の在り方について学ぶ。	-	9月下旬頃	-	-	-	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	111 外国語活動・外国語
2182	理科教育講座(小・義 理科) ～今日的な教育課題に継続して取り組む理科実践～	小学校の理科教育における教科の本質的な課題や今日の課題についての研究を進め、研究記録の作成や実践発表をすることで高度な教材開発・指導力を身に付けるとともに、県内の理科教育の推進に貢献できる実践の普及を図る。	-	①7/1(月)～7/5(金) PM ②10/1(火)～10/31(木) PM ③随時相談会(希望者) ④1/20(月)～1/31(金) 終日	-	◆	-	-	-	○	○	○	○	▲	-	-	104 理科
2183	理科教育講座(中・義 理科) ～今日的な教育課題を継続して取り組む理科実践～	中学校の理科教育における教科の本質的な課題や今日の課題についての研究を進め、研究記録の作成や実践発表をすることで高度な教材開発・指導力を身に付けるとともに、県内の理科教育の推進に貢献できる実践の普及を図る。	-	①7/1(月)～7/5(金) PM ②10/1(火)～10/31(木) PM ③随時相談会(希望者) ④1/20(月)～1/31(金) 終日	-	-	◆	-	-	○	○	○	○	▲	-	-	104 理科
2184	理科教育講座(高・理科) ～生徒も自分も納得する授業づくり！～	生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について学ぶ実践講座。公開授業や研究会を通して授業力を高め、県内の理科教育の推進に貢献できる実践の普及を図る。	-	① 6/21(金) PM ② 10月中旬頃 ③ 1月頃	-	-	-	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	104 理科
2185	研究開発講座(高・理科実験教材開発) ～個動で開発しよう。実験教材～	知的好奇心や探究心を喚起し、自ら学ぶ意欲を高める理科演習実験や実験書の開発・改善について研究を行う。	61:理科教員 62:東濃地区の理科実習教員 63:飛騨地区の理科実習教員 64:実習助手	G1:① 5/30(水) PM ② 7/1(月) PM ③ 11/13(水) PM G2:① 5/29(水) PM ② 7/11(木) PM ③ 11/15(金) PM G3:① 5/31(金) PM ② 7/10(水) PM ③ 11/14(木) PM	-	-	-	◆	○	○	○	○	▲	-	-	104 理科	
2186	授業改善講座(高・特)～教科担当主事が訪問し、講義やワークショップ、授業研究を行います！～	教科担当主事による講義やワークショップ等を通して学習指導要領実施上の課題や疑問等についての解決策など各校の実態を踏まえながら共に考え、指導計画や学習指導の改善を図る。※申込みは別途関係要綱HPに掲載の申込用紙(様式1)にて。	高等学校及び特別支援学校各教科等	希望日	-	-	-	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	100 教科全般
選択研修 生徒指導																	
2203	特別活動 指導力向上講座(小・中・義)～集団や社会における生活及び人間関係により形成する特別活動の在り方～	集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養おうとする特別活動の在り方を実践発表や実践交流を通して学ぶ。	-	9月中旬頃	-	◆	◆	-	-	○	○	○	○	▲	-	-	118 特別活動
2204	学級経営講座(小・義)～児童がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営の在り方を学ぼう～	児童がよりよい自分や学級・学校生活・人間関係をつくる活動を通して、共生社会でよりよく生きる力を獲得することのできる学級経営の在り方を、具体的な実例や実践交流を通して学ぶ。	-	9月下旬頃	-	◆	-	-	-	○	○	○	○	▲	-	-	118 特別活動
2205	学級経営講座(中・義)～生徒がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営の在り方を学ぼう～	生徒がよりよい自分や学級・学校生活・人間関係をつくる活動を通して、共生社会でよりよく生きる力を獲得することのできる学級経営の在り方を、具体的な実例や実践交流を通して学ぶ。	-	9月下旬頃	-	-	◆	-	-	○	○	○	○	▲	-	-	118 特別活動

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小童	中童	高特	特	形成	向上	充実	貢献	集合	回数	オア	検案
2206	高等学校のホームルーム経営 ～初めてのホームルーム経営～	教職の基礎形成を図るため、ホームルーム経営に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、実践的指導力を高める。	-	6月下旬頃	-	-	-	◆	-	○	・	・	・	-	▲	-	118 特別活動
2207	研究開発講座(基・ホームルームの作成) ～青春を採らしよう HR活動活性化の手引き～	高等学校のHR活動の実情に応じた教材の開発とともに、生徒自身がよりよい人間関係づくりや進路実現に向けた取組が積極的に行えるよう、教材の研究開発を行う。	-	① 5/23(木) PM ② 8/29(木) PM ③ 2/13(木) PM	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	118 特別活動
2208	キャリア教育基礎講座(基礎形成) ～母校での教育活動をつなぐ、キャリア教育をすすめる～	学びや経験の積み重ねで形成されるキャリアとその教育について概論を学ぶ。また、中央研修に参加した教員の実践事例報告を通して、母校の実践の振り返りをするとともに、今後の指導力向上を目指す。	小・中・高 特	6/11月上旬頃 6/22月上旬頃 6/1、6/2は同日実施	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	-	▲	-	118 特別活動
2209	キャリア教育実践講座 ～キャリア教育実践の過程や、キャリアカウンセリングの活用方法等について、演習を通して具体的に学ぶ。～	子どもたちのキャリア形成の過程や、キャリアカウンセリングの理論、キャリアパスポートの活用方法等について、演習を通して具体的に学ぶ。	-	11月下旬頃 未定	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	118 特別活動
2210	生徒指導基礎講座(小・中・高) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	生徒指導の基礎となる「児童生徒理解」や「児童生徒の居場所づくり・絆づくり」について、生徒指導提言を基にしながら学ぶとともに、「いじめ」や「不登校」等の課題をどのように解決していくか、具体的な事例等を通してその対応力を身に付ける。	-	9月～10月頃	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	204 生徒指導
2211	生徒指導基礎講座(高・特) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	生徒指導の基礎となる「生徒指導理解」「より良い人間関係づくり」「児童生徒との信頼関係づくり」や「いじめの問題」について学び、生徒指導の基本的な知識や対応を身に付ける。	-	6月19日(水) PM	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	204 生徒指導
2212	「魅力ある学校づくり」講座 ～1年1学期学校を基盤とした、いじめ未然防止と不登校支援～	国立教育政策研究所が推進する「魅力ある学校づくり調査研究事業」をもとに、いじめ未然防止や不登校支援について理解を深め、実践力を身に付ける。	-	6/27(木) 14:00～16:00	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	-	▲	-	204 生徒指導
2213	臨床心理士による児童生徒の発達特性を踏まえた教育相談の在り方 ～子どもたちの心と向き合うために～	教育相談とは実際にはどのようなか、具体的な事例を踏まえながら、子どもたちの特性に応じた聞き出し方、答え方、導き方など、児童生徒の心と向き合った教育相談が実践できる能力を身に付ける。	G1:岐阜・西濃地区 G2:美濃・可成地区 G3:東濃地区【TV会議】 G4:飛騨地区【TV会議】	9/2(月)～11/29(金) PM	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	202 教育相談
2214	教育相談基礎講座(2回講座) ～子どもたちの心の成長を支えるために～	学校における教育相談に関する基本的な知識、より良い人間関係づくりのための技法等の基礎を学び、実践に活かす。	G1:自働行為、依存症等 G2:児童虐待等	G1: 5/24(金) PM ※未定 G2: 7/12(金) PM ※未定	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	-	▲	-	202 教育相談
2215	教育相談実践研究会(3回講座) ～教育相談課題の理解と対応～	児童生徒の心に関わる今日的課題に焦点を当て、専門家による講話から実践に活かせる具体的な知識の習得、質実の向上を目指す。	G1:不登校引きこもり G2:児童生徒のメンタルヘルス G3:発達障がい	G1: 6/21(金) PM ※未定 G2: 9/ 6(金) PM ※未定 G3: 11/22(金) PM ※未定	-	-	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	202 教育相談
2216	児童生徒理解講座 ～子どもたちの心の理解のために～	子どもたちの心の状況について、医学や心理学の観点から理解を深め、学校における適切な対応について学び、不登校等の支援に活かす。	-	10/ 4(金) PM ※未定	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	-	▲	-	202 教育相談
2217	児童生徒への対応講座 ～子どもたちの心を育てるために～	長年の現場経験と脳科学の観点から、子どもたちの心の安全の確保し、生きる力を育むために、教員が子どもと保護者のできる効果的な働きかけについて学び、実践に活かす。	-	11/ 8(金) PM ※未定	-	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	-	▲	-	202 教育相談
2218	外国人児童生徒等への指導力向上講座(3回講座) ～児童生徒一人一人を大切にしたい日本語指導・学習指導について学ぶ～	全ての教員が要日本語指導児童生徒に対して、適切な適応指導や日本語指導ができるようになり、外国人児童生徒へのよりよいきめ細かな指導力、実践力を育てること。【G1】「探る」外国人児童生徒等の背景を理解するとともに、言語能力の測定や評価について学ぶ。【G2】「育む」外国人児童生徒等の日本語の力を考慮した指導方法・支援方法を学ぶ。【G3】「つなぐ」外国人児童生徒等の学びに広がりや連続性をもたせるための指導者を含む学習環境の充実について、実践者から学びとる。	G1:JSL対話型アセスメントDLAの理解と活用方法 G2:生活適応のための支援 G3:教科に基づいた教材の活用	G1: 6/24(月) G2: 9/20(金) G3: 12/16(金) ※外部講師との打ち合わせによる	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	-	-	208 国際理解
2219	国際理解教育講座 ～国際理解教育、多文化共生を理解・体験する～	JICAを外部講師に招き、学校で活用できる具体的な手法や考え方を学ぶ。また、JICAの開発教育支援メニューを知ることで、広い視野で異文化を理解し、多文化共生社会を推進するための指導力を高める。【G1】ベネチア編(学校で国際理解教育を愛用している経験者から学び、実践に向け【G2】スタンダード編(学校で国際理解教育の受講を推奨して意見交換を行う。) ※G1、G2の両講座の受講を推奨	G1: 8/1(木) G2: 8/2(金) ※対象は目安であり、必須ではない	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○	▲	-	-	208 国際理解

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小	中	高	特	形	向	充	夏	教	回	オ	検
選択研修 経営・分掌																	
2302	人権教育講座 ～人権教育でこそできる「人間尊重の気風がみなぎる学校づくり」～	学校における人権教育を全教育活動で推進する指導者としての資質を、講義、研修を通じて身に付ける。	—	12/12(木)	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	◆	—	—	203 人権教育
2303	教師力を高めるメンタリングを身に付けよう！ (高・特) ～メンタリングを通して「話し方」を育てるカ」の向上～	学校組織における職員間の関係を良好に築き、対話による気づきと助言により、自発的で自律的な成長を促す方法や手立てを学び、学校運営や教育活動に生かす。	—	6月中旬頃 未定	—	—	—	—	—	—	○	○	◆	—	—	500 スキル向上・ICT	
2304	話し方講座 ～相手に響く！伝わる！「話し方」を磨こう！～	声の出し方、間のとり方、抑揚など自分の話し方を客観的に捉え、その問題点に気付き、どうするとともに分かつたりやすい話し方になるか、元アナウンサーの講師からその手法を学ぶ。	G1・G2は同一内容	G1: 9月11日(水) G2: 9月18日(水)	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	500 スキル向上・ICT	
2307	保護者との信頼度向上講座 ～保護者との協力体制を築こう！～	保護者として指導に当たるとは…初期対応を適切に行い、問題の早期解決を図るには…保護者とうまく関係を築くためにはどうするとよいか、様々な事例をもとに考える。	G1: 希望者 G2: 新任教頭研修対象者	12月頃	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	500 スキル向上・ICT	
2308	フアンリテレーション講座 ～「場のデザインカ」対人関係「構築化」「合意形成」で、議論を活性化させよう～	学校・学年等の組織を支える人と人との相互関係促進を図る手立てを学び、学校・学年等の運営の視点を学ぶ。	—	10月頃	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	500 スキル向上・ICT	
2309	コーチング講座 ～力を引き出しモチベーションアップ！コーチングを身に付け 学校組織を豊かに～	相手の優れた能力を引き出しながら、自発的な行動を促すコミュニケーションスキルのあるコーチングを様々な角度から学び、学校マネジメントに生かす。	—	6月27日(木)	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	500 スキル向上・ICT	
2310	DIG(災害国上訓練)初級編 ～タブレットを活用したDIG研修～	DIG(災害国上訓練)の講義を通して、学校や地域の防災に対する着眼点及び対策を学ぶ。また、タブレットを活用しながら児童生徒の自助・共助の態度を養うための指導について考える。	—	6/7(金) 14:00～16:00	—	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2311	HUG(避難所運営シミュレーション)初級編 ～被災地から学ぶHUG研修～	講師の被災地での体験から、学校が避難所になったときに起こり得る事象について学び、事前に何をすればよいか、実際どのかにかについて考えていく。	—	6/14(金) 14:00～16:00	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2312	防災教育スペシャリスト養成研修1 ～子どもの命を守る防災教育～	学校活動中に想定外の自然災害が発生した場合の避難の仕方や安全対策や、自分の命を自分で守れる子どもを育成するための「命を守る訓練」の在り方について学ぶ。	G1: 希望者 G2: 新任教頭研修対象者	6/18(木) PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2317	防災教育スペシャリスト養成研修2 ～関係機関と連携した災害時の学校の対応の在り方～	気象情報等から関係機関との連携の中で、どのような判断・対応が考えられるかを検討し、学校版タイムラインの作成方法を学ぶ。	G1: 希望者 G2: 新任教頭研修対象者	8/1(木) PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2318	防災教育スペシャリスト養成研修3 ～災害発生時の対応 大川小学校事故に学ぶ～	大川小学校の事例を基に、災害発生時の対応や遺族等の立場に立った事故後の対応の在り方を学ぶ。	G1: 希望者 G2: 新任教頭研修対象者	11/5(火) PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2319	防災教育スペシャリスト養成研修4 ～危機管理マニュアルの見直し・改善～	学校周辺の地形やハザードマップ等の情報から、危機管理マニュアルの課題点を明らかにし、見直し・改善に資する視点を学ぶ。	G1: 希望者 G2: 新任教頭研修対象者	12/3(火) PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	206 防災教育	
2320 ☆	市町村立小中学校等専務職員リーダー研修	共同学校専務室等組織のリーダーとして、組織的な校務運営への参画及び人材育成に必要な連絡調整及び指導・助言・支援ができる能力を高めるとともに、各地域のリーダーとしての使命感の高揚を図る。	—	11/15(金)	—	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	301 専務職員	
選択研修 特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応																	
2401	ユニバーサルデザインの授業づくり ～実践から学ぶ、誰もがわかる、ユニバーサルデザインの授業・環境づくり～	教師の基礎形成を図るため、ユニバーサルデザインの授業づくりや環境設定について、具体的な改善方法や支援の在り方を学ぶ。	G1: 教育総合センター G2: 中津総合庁舎【TV会議】 G3: 飛騨総合庁舎【TV会議】	12月上旬 PM	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	201 特別支援教育	

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小 学	中 学	高 校	特 許	形 成	充 実	貢 献	教 育	同 窓	オ ン	検 査
2402	発達障がいのある幼児児童生徒への支援 ～作業療法士の視点から学ぶ(やりくりの工夫 え方、感覚覚醒)～	教職の基礎形成を図るため、小・中学校、義務教育学校の通常の学級に在籍する支援を要する児童生徒を事例として、困難さの要因分析の考え方や困り感に対応した支援の仕方を、専門家（作業療法士等）の視点から学び、実践力を身に付ける。	G1:教育総合センター予定 G2:中濃総合庁舎【TV会議】 G3:飛騨総合庁舎【TV会議】	10月上旬 PM	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	◆	—	—	201 特別支援教育
2403	個別の教育支援計画の作成・活用 ～作成の基本から、その活用まで学ぶ～	【G1】 教職の基礎形成を図るため、自身の担当する支援を必要とする幼児児童生徒の個別の教育支援計画作成のポイントを理解する。 【G2】 作成した個別の教育支援計画の校内・校外への有効な活用方法を学ぶ。	G1:基礎形成期・資質向上 期 G2:資質充実期・資質貢献 期	G1:5月中旬 PM G2:7月上旬 PM	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	○	▲	—	201 特別支援教育
2404	障がい種別の実践者から学ぶ特別支援学級、 高等学校通級指導の授業づくり	障がい種別の実践者より、HR・学級経営のノウハウや児童生徒の実態分析から授業づくりについて学び、自らの実践に役立てる。	G1:知的障がい G2:自閉症・情緒障がい G3:高等学級通級	G1:7月上旬 G2:7月上旬 G3:7月上旬	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援教育
2405	医学・福祉の視点から学ぶ特別支援教育(2回 講座) ～発達障がいのある幼児児童生徒への支援～	基礎的な特別支援教育に対する知識・技能を有するか、又は発達障がい等のある幼児児童生徒の指導・相談経験が3年程度以上ある全ての校種の教員が、医学や福祉の専門家による2回連続講座で知識を深め、特別な支援に関する具体的な指導力の向上につなげる。	—	G1:9/5(木) PM G2:9/6(金)	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援教育
2406	ICT活用と読み書きに困難のある子どもへの学び	読み書きに困難のある子どもの背景やICTの活用の講話を通して、発達障がいのある児童生徒の読み書きの指導について学び、指導・支援に生かす。	—	9月頃	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	—	201 特別支援教育
2407	交流及び共同学習 ～共に学び、互いに成長し合える交流であるた めに～	「通常の学級と特別支援学級」「居住地域交流や学校間交流」の交流及び共同学習の実践から、共に学び、互いに成長し合える交流及び共同学習の在り方について学ぶ。	—	7月上旬 PM	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	—	201 特別支援教育
2408	特別支援教育講座 医療的ケア専門研修 ～学校における医療的ケア～	医療的ケアの基本的事項（重度の障がい・疾病のある児童生徒）についての医療上の専門的対応方法に関する具体的な知識、理解を深める。	—	8月上旬頃	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2409 ☆	多様なニーズに応じた特別支援教育オンデマ ンド研修	特別支援教育の基礎的な知識について、国立特別支援教育総合研究所のコンテンツを基に、自らのニーズや障がいに応じて、概論的に学ぶ。	開催要項を参照	年度内	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2410	発達障がいのある子どもの性教育	医学の専門家による講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の性教育について学び、指導・支援に活かす。	—	10月頃	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2411	発達障がいのある子どもの「見る力」に対する指導	オプトメトリストによる講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の見る力について学び、指導・支援に活かす。	—	11月頃	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2412	発達障がいのある学生に対する支援の実践 ～高等教育機関における発達障がい学生に対 する支援の実践～	心理学の専門家による講話と校種間を越えたグループでの支援の検討を通して、高等教育機関における発達障がい支援について学び、長期的な視点をもって学齢期の支援に活かす。	—	9月頃	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2413	知的障がいのある児童生徒の学び ～学習指導要領を基にした目標設定～	知的障がいのある児童生徒の学習指導要領に基づいた目標設定について学ぶ。	—	12月下旬 PM	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2414	知的障がいのある児童生徒の学び ～教科指導を見直す～	知的障がいのある児童生徒の教科指導の在り方について改めて見直し、授業改善、指導力の向上を図る。	—	7月下旬	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2415	重複障がい学級の指導 ～基礎から学ぶ「学級運営」から「ICT」～	専門家やコアティーチャーから重度重複障がい学級の指導に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を身に付ける。	—	7月下旬	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2416	重複障がい学級の指導 ～作業療法士と共に考える「からだ」の授業～	重度重複障がい学級の身体の動きの困難さの要因分析の考え方を、専門家（作業療法士等）の視点から学び、実践力を高める。	—	8月上旬	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育
2417 ☆	発達障がいのある児童生徒の発達段階を踏ま えた指導の在り方	発達障がいのある子どもたちの発達段階を踏まえた指導について学び、具体的な指導の改善方法や支援の在り方を学ぶ。	G1:教育総合センター G2:中濃総合庁舎【TV会議】 G3:飛騨総合庁舎【TV会議】	10月下旬 PM	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	201 特別支援教育

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小 学	中 学	高 校	特 徴	形 成	向 上	充 実	貢 献	集 合	問 双	オ 子	校 種
2418 ☆	集まれ！言語通級指導教室集合研修～地域、県内で行なわれ、互いに学び合おう～	言語通級指導教室の授業の進め方から自己課題に応じた研修(発音・吃音・コミュニケーション)を通して実践力を高めるとともに、地域や県内の言語通級指導者とのつながりを深める。	61: 発音 62: 吃音 63: コミュニケーション	7月下旬	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2419 ☆	実践から学ぶ知的障がい学級の教科指導～運動量を確認した体育の授業～	昨年度の実践発表から特別支援学校知的障がい学級の教科指導の指導の在り方について学び、教科指導の実践力を高める。	—	7月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2420 ☆	実践から学ぶ知的障がい学級の合わせた指導～地域の特徴を活かした生活単元学習～	昨年度の実践発表から特別支援学校知的障がい学級の教科・領域等を合わせた指導の在り方について学び、教科・領域等を合わせた指導の実践力を高める。	—	7月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2421 ☆	重複障がい学級の指導～実践者から学ぶ「からだ」の授業～	専門的な知識や技能を有し、重複障がい学級の指導を実践してきた指導者から「からだ」についての知識や技能を学ぶとともに実践の悩みや自己課題についての助言を受けて、明日からの授業実践力を高める。	—	7月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2422 ☆	重複障がい学級の指導～授業指導～	授業指導についてコアティナーから学ぶとともに、日々の実践についてコアティナーから助言を受けて指導改善につなげる。	—	7月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2423 ☆	重複障がい学級の指導～スリッパ教材をつくらう～	スリッパ教材を実際に作りながら、効果的な活用法をコアティナーから学ぶ。	—	7月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2424 ☆	基礎から学ぶ動作法～動作法の概論、実践を学ぶ～	心理リハビリテーションスーパバイザーから動作法概論、実践を学び、実践に活かす。	61: 岐阜・西濃・美濃地区 62: 可茂・東濃・飛騨地区	8月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
2425 ☆	動作法を活用した「からだ」の授業～実践演習を通して学ぶ～	心理リハビリテーションスーパバイザーから動作法を活用した「からだ」の授業についての実践演習から、専門的な知識、技能を学び、授業実践力を高める。	61: 岐阜・西濃・美濃地区 62: 可茂・東濃・飛騨地区	8月下旬	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	201 特別支援 教育
選択研修 ICTや情報・教育データの活用																	
2501	【基礎形成】これだけばっちり！情報教育の基礎～ICT活用・著作権・情報管理の基礎を学ぶ～	ICTを活用した授業、学校教育における著作権、情報セキュリティについての基礎的な理解を深め、今後の教育現場や業務の見直しを図る。※高校・特支学校は、初任研修と内容が重複しますので受講対象外です。	—	G1:5/17(金) G2:5/20(月) G3:5/31(金)※全て仮	—	◆	—	—	—	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向 上・ICT
2502	ICT活用実践研修(小・中・高・特)～1人1台端末と連携する学習支援ソフトの活用指導力を高める～	GIGAスクール構想やオンライン学習等の急速な整備に伴い、県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ソフトの活用実践を通して、実践に生かすための活用指導力を身に付ける。	G1: G2: iPad G3: Google Workspace G4: G5: ロイノート G6: G7: Metamoji G8: Classroom G9: SKYMENU Cloud G10: G11: Microsoft Teams	未定	—	◆	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向 上・ICT
2503	ICT活用実践研修(特)～1人1台端末の活用と実践～	GIGAスクール構想やオンライン学習等の急速な整備に伴い、特別支援学校のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ソフトの活用実践を通して、実践に生かすための活用指導力を身に付ける。	G1: 導入編 G2: 活用編	G1: 7月頃 PM G2: 8月下旬頃	—	—	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向 上・ICT
2504	放課後学べる！ミニICT講座～短時間でICTツールの基本的な使い方や使い慣れたソフトの新機能学ぶ～	短時間で、ICTツールの基本的な使い方や使い慣れたソフトの新機能について、学校にいながら学ぶ。 ※おもな研修内容がICTツールの基本的な操作や機能であることや、各自治体によって、ICTツールの整備環境が異なりますので、各校に整備され利用できる環境であるかを踏まえて、受講を検討してください。 ※本研修講座は、中堅教諭実質向上研修等の「自己課題」には代替できません。 ※育休明け、役員定年等でICTにプランクのある方も、気軽に参加してください。	G1: Webex G2: Microsoft Forms G3: MetaMoji G4: Pad各種アプリ G5: ロイノート G6: 白岡総乱 G7: manaba G8: SKYMENU Cloud G9: Power Automate G10: Bookings	G1: 5月下旬15:50～ G2: 5月下旬16:50～ G3: 6月上旬15:50～ G4: 6月上旬15:50～ G5: 6月上旬15:50～ G6: 6月中旬15:50～ G7: 6月中旬15:50～ G8: 6月中旬15:50～ G9: 6月下旬15:50～ G10: 6月下旬15:50～	—	◆	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向 上・ICT	

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・中・高	牌	形成	向上	充実	貢献	集合	両	オ	検
2505	みんなつながる！オンライン配信講座 ～魅力的なオンライン授業づくりの工夫とコツ～	県内におけるオンライン授業の取組事例を共有し、魅力的なオンライン授業を行うための設計・運営やツールの効果的な使い方を身に付ける。	—	9月下旬	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2506 ☆	生成AIの教育における活用 ～プロンプトエンジニアリングから学ぶ～	生成AI(人工知能)を用いたプロンプトエンジニアリングの演習を通して、生成AIについて理解を深めるとともに、教育における活用の可能性を学ぶ。	—	7～9月頃	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2507	データの分析と教育への活用講座 ～ビッグデータ(RESAS)を授業に活用しよう～	地域経済に関する様々なビッグデータを見える化したRESASを活用し、データに基づいた分析方法を体験的に学ぶ。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	6月頃	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2508	デザイン思考による課題解決学習講座 ～アイデアを形にするために～	チームビルディングを通して、授業で児童・生徒の創造力を高め、センサータグや3Dプリンター、ビジュアルプログラミングなど、ICTの効果的な活用によるアイデアを創出するための手法を学ぶ。	—	10月頃	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2509	先端技術で実現する個別最適な学びと教育の未来 ～世界の動向をつかみ、先端技術により「知の深化」「知の探求」を期し、未来を創造する子どもを育てるために～	G I G A スクール構想で整備された環境を活用した「個別最適な学び」を活かし、未来を担う子どもたちを育成する学校教育の在り方について学ぶ。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	12月中旬	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2510	情報モラル教育指導者養成講座(3回講座) ～事例から学ぶ、ネット社会の危険性とその対応～	ネット社会の危険性に関する講話や実践を通して、教職員や児童生徒、保護者を対象としたネットトラブル等の対処法の講話を行うときに必要な知識やスキルを身に付け指導力を高める。	①オンデマンド ②オンデマンド ③2/7(金)PM	① 6/7(金) ② 10/11(金) ③ 2/7(金)PM	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	▲	—	500 スキル向上・ICT
2511	小学校プログラミング講座 ～教育課程への位置付けを実践的に行う～	プログラミング教育を推進するため、「小学校プログラミング教育の手引」や様々な実践事例を基に学び、各教科等における論理的な思考力を高めるための指導力を身に付ける。	61:micro:bit 62:Scratch 63:Scratch	未定	—	◆	—	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2512	ホームページによる県立学校の情報発信講座 ～WordPressを活用した効果的な学校情報の発信～	WordPressの仕組みや基本的な作成機能等について実習を通して学び、効果的な学校情報の発信を行うための実践力を身に付ける。	—	6月～7月頃	—	—	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2513	授業のための表計算活用講座 ～授業処理の時間に役立つ機能の活用～	実用的な関数の利用、クロス集計やフィルターなど各種機能など基礎的な内容を学び、授業の効果向上に役立つ知識と技術を身に付ける。G I G A スクール構想における3つのOSそれぞれの特徴について取り扱う。	G1・G2は同一内容	G1:6月頃 G2:10月頃	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2514	統合型校務支援システム活用講座 ～成績入力・名簿機能の活用から校務の効率化を図る～	小・中・義務教育学校に導入されている統合型校務支援システムの更なる活用について考成績入力・名簿機能、特別支援機能等の基本機能について確認し、活用方法について考える。	G1:小・義務 G2:中・義務 G3:小・義務 G4:中・義務	G1:6月中旬～下旬 G2:6月中旬～下旬 G3:6月中旬～下旬 G4:6月中旬～下旬	—	◆	—	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2515	1人1台端末環境における情報モラル教育 ～今こそ必要な情報モラル教育の在り方～	G I G A スクール構想の実現に向け、児童生徒一人一人に端末が整備された今の学校において、必要不可欠な情報モラル教育の在り方について学ぶ。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	11月下旬	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2516	新しい学びの時代における著作権教育講座 ～1人1台端末環境、オンライン学習における著作権について学ぶ～	急速に整備されたICT環境を用いた授業や、オンラインを活用した学習活動を行う際に気を付けるべき著作権について学ぶ。	G1:集合研修 G2:オンライン研修	1月中下旬	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2517	放課後学習支援ミニ著作権講座 ～短時間で学校教育における著作権について学びます～	短時間で、著作権について学ぶ、オンライン(オンデマンド)研修。学校教育における著作物の取り扱いについて、学校にいながら学ぶ。 ※本研修講座は、中堅教諭資質向上研修等の「自己課題に合わせた研修」には代替できません。	—	7月上旬	◆	◆	◆	○	○	○	○	▲	▲	—	500 スキル向上・ICT
2518	VRやメタバースで実現する学び ～教育におけるデジタルトランスフォーメーション～	デジタル技術によって実現する新たな学び方について、メタバース空間における演習を通して知り、教育DXの可能性を学ぶ。	—	10～12月頃	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2519 ☆	学習者用デジタル教科書活用講座 ～デジタルの強みを生かした教科書をいかに活用するか～	学習者用デジタル教科書の「つくり」や、何を期待して各種機能が込められているのか、有識者から学ぶ。	—	11月中旬	—	◆	◆	○	○	○	○	▲	—	—	500 スキル向上・ICT

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小童	中童	高童	特形	向上	充実	貢献	集双	オマ	校務
2520	運わる！作れる！動画の撮影や編集のポイント～教材としての動画活用のために～	わかりやすく作れる！動画の撮影や編集のポイントを、専門講師の講義と実技演習を通して学ぶ。	G1・G2は同一内容	G1: 8月下旬 G2: 11月上旬	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	—	500 スキル向上・ICT
2521	デジタルシナシズンシップ教育のすすめ	デジタル社会を生き抜いていく子どもたちに必要なデジタルシナシズンシップ教育について専門講師の講義を通して学ぶ。	—	8/2(金) PM	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	—	500 スキル向上・ICT
2522	ICT教育を取り巻く状況の変化と今後の学校教育の在り方	GIGAスクール構想の先にあるICT活用について理解を図り、今後の実践に生かすための知識を身に付ける。	—	9月上旬	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	▲	—	500 スキル向上・ICT
2523 ☆	e-Learning リスキリングICT講座～文書作成、表計算、プレゼンテーション～	文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトとウェアの活用について、基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。学び直したい方におすすぬ。GIGAスクール構想における3つのOSSすべてに対応する。	—	8/1(木)～1/31(金)	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	500 スキル向上・ICT
選択研修 育児休業からの復帰支援のための研修															
2601	育児休業からの復帰支援のための研修～育児と仕事の両立に向けて自分に合った働き方を考えよう～	現在の教育をめぐる社会の動向や岐阜県の児童生徒の姿、育児と仕事の両立を支援する制度等を知って、復帰後の不安や戸惑いを解消し、自分に合った働き方について考える。	—	6月下旬～7月上旬	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	302 育児休業
連携研修 大学との連携															
3001	スクーラーリーダー養成研修A	岐阜大学教職大学院との協働により、「教育法規（コンプライアンス・労務管理）」・「リーダーシップ論」・「教育改革（ICT教育）」・「インクルーシブ教育」に係る講話・演習を通して、スクーラーリーダーとしての資質向上を図る。	—	7/29(月)前後	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3002	スクーラーリーダー養成研修B	岐阜大学教職大学院との協働により、「組織マネジメント」・「学校評価」・「学校の危機管理」・「学校の事件・事故」に係る講話・演習を通して、スクーラーリーダーとしての資質向上を図る。	—	8/1(木)前後	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3003	スクーラーリーダー養成研修C	岐阜大学教職大学院との協働により、「今日的教職課題」・「カリキュラム・マネジメント論」・「授業開発論」・「地域との連携・協働」に係る講話・演習を通して、スクーラーリーダーとしての資質向上を図る。	—	8/19(月)前後	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
連携研修 県美術館・県図書館・県博物館等の文化施設との連携															
3101	授業に活かす考古学講座【文化財保護センター】～本物に触れる感動を！興味・関心を高める授業づくり～	本物の遺物に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを実感する。また、発掘調査の成果を授業で活かす具体的な方法をj知ることjで、社会科以外の教科jにおいてjも体験や実物から学ぶ意義について考える機会とし、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る。	—	10/25(金)	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3102	博物館活用講座【岐阜県博物館】～自然観察やハンクヤード見学等を通して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	岐阜県博物館周辺の自然を利用し自然観察や館内収蔵物 館内展示物の見学を通して、博物館の魅力・活用方法を理解するとともに、自然観察の指導力向上を図る。	G1: 学芸員から学ぶ G2: 体験・見学から学ぶ	G1: 11月以降～12月 終日 G2: 11月以降～12月 終日	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3103	博物館活用講座【瑞浪市化石博物館】～地層の観察、化石採集、化石クリーニングを体験して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	瑞浪市化石博物館や地層の見学、化石採集・化石クリーニングの体験を通して、学校における自然観察等に関する指導力の向上を図る。	—	10月以降～11月 終日	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3104	先端科学技術体験講座【触媒、電子顕微鏡】【サイエンスワールド】～好奇心をくぐくぐ体験！～	「酸化チタン」がもつ光触媒作用やコアリングによる干渉色の違いなどの特性について学ぶ。「電子顕微鏡」を操作し、身近なものや生物を観察することで、その特徴を理解する。	G1: 光触媒 G2: 電子顕微鏡	G1: 6/28(金) G2: 11/21(木)	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3105	ものから学ぶサイエンス体験講座【サイエンスワールド】～どんぐり・プラスチックについて様々な見方を働かせ、体験する～	どんぐりやプラスチックの特徴を様々な見方を働かせて捉える体験を通して、学校や園における探究的な活動の指導力の向上を図る。	G1: どんぐりから学ぶ生體 G2: プラスチックから学ぶ科学	G1: 7/1(月)～7/12(金) AM G2: 7/1(月)～7/12(金) PM	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携
3106	美術館活用講座【岐阜県美術館】～感性を働かせて、美術館で活動に浸る一日～	岐阜県美術館にある作家の作品等を教材に、対話型鑑賞法の体験や演習等を行うことjを通して、自身の鑑賞活動に対する指導力の向上を図る。また、美術館との連携について学ぶ。	—	10月	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	▲	400 大学・施設連携

講座番号	講座名	内容	グループ	期日	幼児	小・高	中・高	特	形成	向上	充実	貢献	賞台	同 双	才 子	校 業
3107	美術館活用講座【岐阜県現代陶芸美術館】 ～感性を働かせて、美術館での活動に浸る～ 日～	岐阜県現代陶芸美術館にある作家の作品等を教材に、鑑賞活動の体験や作陶体験をすることによって指導力の向上を図る。また、美術館との連携についても学ぶ。	—	9月	—	◆	◆	◆	・	○	○	○	▲	—	—	400 大学・施設連携
3108	野外で学ぶ体験講座【森林文化アカデミー】 ～G1:自然にふれて感動する体験をクリエイト ～ ～G2:学びの本質・野外での体験学習から探る～	指導者の自然体験を深めるとともに、自然体験学習の理論と指導法を身に付け、各校種における指導力向上と学校現場での活用を目指す。 【G1】自然の中で、体を動かしながら活動する実践活動を行う。 【G2】野外や校庭のメリットを活用した授業展開の体験と手法を学ぶ。	G1:幼児 G2:幼児小中高特	G1:10/25(金) G2:11/14(木)、11/15(金) 2日間	◆	◆	—	◆	○	○	○	・	▲	—	—	400 大学・施設連携